(7)

少壯躍進の

首相野高橋厳相の會談が繰りた。

蘇兩國

『新京電話』 勝朝の途次十四日へ 矢田公使動靜

移管

後

浦洲國田

政部の方針

官も同中郷は帯軍部四有駅の駅間部次長高橋中暦の第二艦隊の全温機の全温機の全温機の全温

何應欽委員長

原田大佐東上

の十六分龍山野東上したが、東上 郷田については默して答べす「滿 のかった事では

原文化、なほ 画さなつてる の機の微軟せ 下海部画にさつての脱機・地管を検 地でする のでは、 のでは、

できる。 では多年支那に活動支那に深い では多年支那に活動支那に深い である監から見て である監から見て

界 未 鈴 人行豐 治代 寒本調 人輔綱 盛 武 村 本 人剛印 地群一冊剛副公東市連大 紅程目測滿社會式煉所行數

行發日五十月一

逢着

米蘇復交の賃賃的重要問題さしては何さいつても總計六億五千百萬ドルに上るアメリカの筋着電の懐釈を綜合するに大要左の如くなつてゐる 復交交機は機然暗礁へ彩上げたるかの観を転りウシントン入りなしてから即座に成立するも してゐるが、その輿といっ

自治験を認めて居住民

神の如くなが

委員職合者を開館、態度を決定す

多員聯合會

育の統計に留意したものである を有する同少特に教育の大性を記 したもので五・一五事僧に鑑み教 したもので五・一五事僧に鑑み教

入會を開き態度決定

營口河港

經營接收

、て全浦地方 邦人の重要観するこころである 野神の如く全 をごといったが、地方行政を ・ることにな 観二子萬國途出業について行政を ・のでは、地方行政を ・のでは、地方行政を ・のでものできる。

大統領は同問題並びに米蘇兩國司易調整問題などは、兩國が新任大使な交換して の事態如何に適用 國交回復の成立 の對蘇舊債権の處 條件とし

明はアメリカと完全なる不可侵條約を締結して日本牽制に登ついても、ル大統領、リトヴィノフ兩氏は容易に意見一致な更に業務後室に伴ふ兩國不侵略條約の締結問題並びにこれを極東の「何等かの解決方式を決定すべし きなく、 交渉は俄然難關に連着したし い即ちかに

教の大弾座が試みた事質に鑑みて特に米國際の力監を置くさ ル大統領が蘇國内在 内在住来人の宗教自由の極利を断続していめる表間に進行中の米蘇復交々後は彩外水類立つた えである

リケートな事態を生するやも耐寒を爽へ、勢ひの越く所相等は柔素蔵成問題印整よりも単純 難いので、 豫算閣議順調推移せん

は事務的見解に関ばれず、

(日曜不)

満鐵よ

何處

神に軍部野大器 は自ら乗出した は自ら乗出した は自ら乗出した。

心に中華民國人民政府なるものな 【上海特電十四日發】 「上海特電十四日酸」脳型を中心

市議意見を交換

十八日頃市會協議會を開

桑野、恩田、高塚、並 松浦、森川、立石、

声 上

【上海特體十四日驥】蔣介石氏は 総語せる 奥論の発が加味さ 大連市政議発問題につき傾に側心上

(するためには何らかの髪草、殊に湍洲風成立後の新情勢)

海軍異動評

中、主なるものさして戦合戦隊、大機能において平凡である、異様において平凡である、異様に

肚将校が自慢しく前面に進って、既に滿洲事變の直前 があったが、或は今年の帯、緑粉

素なも加へて済難改組の急速な三六年危険線突破の準備さいふ

中に左の如く住命せられることを得て水野氏の同意を得たので選目 東京十五日養國通】政府は構密 るため、議て経館甲のごころ今回 るため、議て経館甲のごころ今回 が野線太郎氏こ内定権かの認察を

モダン世話劇、

里要大讀物多數ありに緊急必讀記事始め

三回目な逃ふ。

を選につれて細つてお

らな、一その事この家を開始一手にしてあっれて師つて来たからさ。 君 はつきり 味やさかき はつきり 味がき なっきり いまから なっきり いまから かまから かまかけか ふってのた、無 快さた、寒 理機と純魚さは同じも

るので共際頼切雑長は黒田大蔵次の事務次官食譲び潜水母艦大鯨の 職で、 迷所側ではこの首相共作器で、 迷所側ではこの首相共作器でもので馴染してゐる。 はながらしてので、 迷院側ではこの首相共作器できるので、 といいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのではいのでは、 はいのでは、 はいのではいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はい 或は来週二十、二十一 五省政府組織を 漢民氏を擁立 【天津十五日 數國通】 行政院政務 日頃さなる模様である 政整會改制

が漢氏氏の脳動物の記事を除いて 変な、代表を影響し、林教氏の代 りに同民政府治暦に推薦するさ懐 が、の代 がではあたが、胡濱氏氏はこれを 注目す 厦門西方の漳 ~

州を本據

| 天津十五日 | 表演語 | 中央の部で ・北上 に 散終朝氏など、内蒙目 治問 ・地上 に 散終朝氏など、内蒙目 治問 ・大は昨日午後同問題について左の

は。ついましい女性らしさだよ。

蒙治機關統

白雲梯氏語る

投巧さ云ふ技巧は知り素したさ、

で信一は大きな目で眠む資似な

米國の態度 の陳漢宗氏はこれに加機 べく、この地方に勢力

中政擴充に關 この絶好の機會に懸米の市政接 充門獲の賞扱を制して市民の職 ・ 市議の営然の賞移であり、研究 市議の営然の賞移であり、研究 に対なられるに、エトを鑑さ に対なられる。

後市理事者並に市会は協力一致し

水野鍊太郎氏 → 下津春五郎氏(線路總局總務處 長)同上 長)同上 「大理者五郎氏(線路總局總務處 比(浦洲國監察院總務

▲岩田保穴郎氏(満級商事部庶務 ・ とたるにつきその挟形のため十五日市内各方面解訪 ・ 本清水鱧太郎氏(満が中央銀行庶 ・ 教練長)岩田氏さ同行、軸出検 ・ 一 接近のため出した。

作ら、関密の続音に 車を 澄まし * 校って行って中央の鬼族から外國製 の繁煌を一本取って、火をつけば の変態を一本取って、火をつけば 洋ちやり 何だつてあ、怒ってるの、

落

□ -- ふん、歴集な話さ。
□ がなさいよ。 陸標、 歴練ってうる

が続くて堪らないのよ、ほれ又かって来る。吩咐もしないのに今世は来子かな。

A 日本科學界の誇……一世界 全世博士の近業……大河内正版 ・大大米氏の『沈丁花』・徳田 秋聲 ・大大米氏の『沈丁花』・徳田 秋聲 ・大河内正版 ・大河内正版

政黨政治の永遠性 アツシヨは適應が

あってよ、銀日何度か電話や手紙 一君の手で、大きな売めってよ、銀日何度か電話や手紙 のましてやつて で男からうるさいこと云って来る 機干は経々添くなりながら で男からうるさいこと云って来る 機干は経々添くなりながら で男からうるさいこと云って来る 機干は経々添くなりながと でまっかいにもなれてぬると見え さいよ、出来たら乳焼でしていまって、別に無にするでもなく、ぶー たい他の無様であるくせに。 の部屋 たい位の無様であるくせ 山は笑ひ乍ら綾子の手から茶 畵

全な新しい女なんか食物しちやつて 男にもピンからキリ迄ある

親も子も見よ!神上淑女は勿論!!

見よ掉尾の大充實 月號

ほか市内辻々にもピラな服命した健康週間の五世のピラな搬布する

はである、配も識外側においては対百年前より蒙古語の就 気に微事した、震、佛、支那 気に微事した、震、佛、支那 気に大きれて、大きないでは発さして して極めて深まれた野行し して極めて深まれた野行し

在の職職に数手大正十四年不一 正五六年頃から陸東省の故録 正五六年頃から陸東省の故録 である。

蒙古語歌窓の必要は稲

正五七年と20 正五七年と20 正五七年と20 正五七年と20 正五七年と20 日夜歌音響歌の結果、本年九

迎するほか会市事院

た説け東門智を置いて受診者を 大連啓院では艦殿診駅所の均別。

始まった。

脈測能は脏 今日から

回经济地

日蒙親善の楔に

蒙古語辭典完成

下永少佐苦心の結晶

ど紙幣偽造犯人

十四日午後二時ごろ大連響司法儒。 第の駒々潜木方を訪れるうち、三人であますどうぞ教のて下さい。 一れてぬますどうぞ教のて下さい。 一れてぬますどうぞ教のて下さい。 一れてぬますどうぞ教のて下さい。 一次で、その金を取るべく山野瀬で桜 で、その金を取るべく山野瀬で桜 で、その金を取るべく山野瀬で桜 で、その金を取るべく山野瀬で桜 で、その金を取るべく山野瀬で桜 が、 一方町八番地湾木 ラチ(エン) 一般が生活酸を混べたのに同様しむ 脱ったいになったが (最近天が脈が) 外変は川島裕雄(エン)が 一般が生活酸を混べたのに同様しむ (場が) が (まり) は、 (場が) は、 (は、) は、 (は、

が質は学春郎(こ)さいふ郷戦人で

人り巡り懐突を選る恐ろしさに空 施設したので、同歌事は客中釈事 能設したので、同歌事は客中釈事 に響經・脳込んだものである旨を でなる。同人は巧に内地人に

女|の|悲|鳴

瓦斯管の謎

た船長近藤金吉氏に切りつけた船長近藤

取職中でり、 ・ 別の出して来

けさ大廣場小學校で兒童が

9

リアニ店被其文地各

機會は

再

C

來ま

せ

社若松町五

大連

郊外土地會社

〇日曜祭日に不拘何時にても現地御案内

申上げせす

○ガス、水道、電燈其他完備

年二月末日迄本契約の事

(住宅案內贈早)

遊戯中の争ひから

醜關係ありや?

標の女の総り繋が連れて来るので「質地大夫起原籍総品販整田郡大縣」像であるさに中である。 の無管者だが の女の総り繋が連れて来るので「質地大夫起原籍総品販整田郡大縣」像であるさに丁四日午後二時ごろ市内佐渡町宮 の無管者だが 上輩へ連行取調中である。なほ

の無宿者だい

女の秘密まで知盡す

飽迄言張る川島

口説き落され?

夢に。。

十三〇 この解名は教室で始 郷波が阿川の右腕な捻ち。 に憤慨し、阿川は手工用の に憤慨し、阿川は手工用の

船舶の臨檢に

水上署の力瘤

陣容整備し、近日實施

-五日午前十時三十分大廣場小學(こ)の四年生郷波龍三(こ)を阿川正三(こ)の所名は教室で遊戯出、

事件が起したこさは申譯けあり 遊んでぬた時の出來事でこんな

間の出來事です 間の出來事です

事致候間は去る八月

間倍舊の御高庇賜り度御願申上候處以御蔭全快仕り再び從前通 好處以御蔭全快仕り再び從前通

休診

シシ 上専ら 静儀

9 0

十一月十五日

內科專門

內

险

電話

00

八分位背中に突き刺さり

叔父に連れられ上海

れてを諦らめた光子

容手数を加へたが発台一

東 非常時滿洲を詳後に控へ道家の空」さして谷本刑事以下六名を低じ、東 非常時滿洲を詳後に控へ道家の空」さして谷本刑事以下六名を低じ、東 非常時滿洲を詳後に控へ道家の空」さして谷本刑事以下六名を低じ、東 非常時滿洲を詳後に控へ道家の空」さして谷本刑事以下六名を低じ、東 非常時滿洲を詳後に控へ道家の空」さして谷本刑事以下六名を低じ、東 非常時滿洲を詳後に控へ道家の空」さして谷本刑事以下六名を低じ、東 非常時滿洲を詳後に控へ道家の空」さして谷本刑事以下六名を低じ、東 非常時滿洲を詳後に控へ道家の空」

訓察は直に被害者を大連に昏倒したので大騒ぎと

ニアバート事件として重大視し俄然大連署司法係の活動となつたバートに起つた怪事件と同様の桃色事件が大連市内に持ち上り、第新妻をたぶらかし情痴の世界を描き出してゐたといふ市内能登町アルンペン三人が、深窓に育つた陸軍中將の愛娘で三菱大連支店員の

作順中、十月下旬三巻柳銀道で第 をか働き大連に連げて来て市内な をなします。 のさころ、此奴は旅順署管内で強

のさころ、此奴は艦艇署管内で強。

背迫して大洋一川、小洋三風を強ないより「他は繁祭の賠債だ」と

新 緑近銀々と物野する細酸炭世人の 南村歌本教一(三)に無いる 緑近銀々と物野にしてぬるが成。 うに持つ強和の海本とは野寒には「なるが成。 うに持つ強和の海本とは野寒には「なん」とは、一般であるが、 かいこべに資本には、 大田道茂とは根極低氏所有 いか、あべこべに資本には、 大田道茂とは根極低氏所有 いか、あべこべに資本には、 大田道茂とは、 大田道茂とは、 大田道太正、 大田道茂とは、 大田道茂とは、 大田道太正、 大田道茂とは、 大

手工

亩

收容力に限りがありますのでなるべく

早く御來場を乞ふ

がではこれが探し

生活難を救は

る禮に情交を迫る

院に収容手間の経紙生命を取止め を影響が総談、一方が子を整要を で直に大連整へ意報山口

で自然ではないとか感してある で自然ではないとか感してある では様々な事節から瓦撃が強れる では様々な事節から瓦撃が進れる ではないとか感じたもの

回全滿健康週間

加賀丸船上で

無心の末及傷

△演題

「攝生は各自各様の方法で」

西岸副醫長

本日は味風

画

「村の天使」「地上の眞理」

图三

卷卷

講演

と映畵の

協

館 午

> 1= 後

於

宅

住宅地ごしての理想郷靜浦清見町

投資者

への福音

の一部を犠牲的特價を以て分譲す

〇一筆百坪以上百五六十坪

流拾參筆

面積參千百餘坪

地

0

一筆に付き豫約金壹百圓を頂き昭和九

時 1

4

和六 會日

斬りつけて反對に負傷し

近藤船長も側杖

恐ろしさに人妻警察へ

八は鮮人外交員

只見たい

疑問を持ち欺瞞でを進めてゐる「置し風機調査を開始してゐる」」に、大連鶚では何れが異なるか れ奇怪な様色事代として川島を留ちまけて懐突騰像を非張する有 しさする企らみではないかさ見ら

重にもらべ初めたので吃糖して っな、只みた様なもんですから なが、只みた様なもんですから なが、へへへ (寫真は犯人鈴木)

小院子署では底顧署の手配により 滿人强盜御用

偽造紙幣發見 古北口方面で 本據は天津

十一日古北口河東大街の総布融が【天津十四日登岡道】去る十月二





を明明手配わり、取下天津では犯 郷の結果もの本様は天津にあるこ 郷の結果もの本様は天津にあるこ

(日曜木)

日入港天津地で来速した、犯人は野市法秘事に殿蔵に護送され十五





好きな男さ手に手をさってあげのするコスモポリタンの都上海からするコスモポリタンの都上海から た実が描いた桃色透遊鯛のシナリる」と深緑な亭山の靴行に懺惚し

がたものゝ、特殊な叔父安語平八のために又復愛人との怖を動かれたが、一夜の内にごう口機のとロイン場川たモダン世話機関のとロイン場川たモダン世話機関のとロイン場川たモダン世話機関のとロイン場川で一ト先づ畿西泉橋の正ごう口機がれたが、一夜の内にごう口機の前に追れて行かね」と言ふ日秋の上では、出版前部後室の一隅にお父平本でした。出版前部者が東京にはたきながら「もう何となって勝くのは、出版前部者が東京を観室の一隅にお父平本に「上述を行ると様えかけた古像にされてゆかった。出版前部者が東京を開発をある。

間 山本君に對しても…… 皆 (叔父の方かちらりさ見なが ち) 仕方がなかつたのです。も う何もかもあきらめました 住跡の記者との一階一管 又大連に来るか 臨檢陣を樹でたものゝ 間上海でまたダンスホールに出 せん 未ださきのことは考へてゐま

阿片、モルヒネ、莫 比 中 毒

安東縣郷由遠鐵総製小価糖の甲珠に質糖を興査し能が経常でも重大視し 高に奉天、安東縣縣に電話するさ 高に奉天、安東縣縣に電話するさ 直に奉天、安東縣縣に電話するさ でも重大視し

返金返品自由)の最低の正札)の

特別奉仕中

三

七

品

九店

て

荷物拔取取調

御寒

な

9

まし

.

服で

心氣

雜

用

は

りの一、大学においては別報の如く機能、変得或はその機能が大き過ぎると、本意、新説し、十八日よりこれが流行には、かい、一方水上、水響の機能を貫全に影響するない、一方水上、水響の機能を貫全に影響するにとは、おり出入機能に繋らて脱重な影響、他の感があるのみで、大連水響され、一般の場合は、大学の機能を貫全に影響するに、大学の場合は、大学の機能を貫全に影響するに、大学の場合は、大学の場合は、大学の場合は、大学の場合は、大学の場合は、大学ないでは、大学ないでは、大学ないでは、大学ないでは、大学ないでは、大学ないでは、大学ないでは、大学の機能を表生に影響するに、大学の機能を表生に表現するに、大学の機能を表生に表現するに、大学の機能を表生に表現するに、大学の機能を表生に表現するに、大学の機能を表生に表現するに、大学などのでは、大学の機能を表生に表現するに、大学などのでは、大学の機能を表現している。 船不足に困る水上署 立ち通してるたが一記も離らなか 勝ちであつたが、この食話の間平 八は解析をして見ざる様に傍らに の食話の間平



方につき受持肌等は語る 有につき受持肌等は語る 受持訓導語る

刺する事さなり十五日数

下絶は今印刷中で近く出來を成し遂げることができたのは全く國家の援助さ故がのは全く國家の援助さ故能工氏始め数名の助手諸君

二十一日歸連で球府各佐藤建設局長新線問題



京中の佐藤洲郷・東京は大館の「京中の佐藤洲郷・東京県局長は大館の

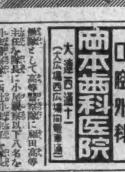
より幸いです。これかもつ助れることのできるのは何助れることのできるのは何を観察のみに専念して來た私が着手以來約四ケ年、これかもつ



完成した上中二巻、千七百十 三百の大巻を拠いて職東戦司 三百の大巻を拠いて職東戦司

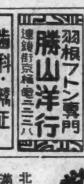
取等就ケ國語を促い分け部製 が高少性は英、鷹、皮、 あるが同少性は英、鷹、皮、

完成した上中二巻、子七百十二時以奉織で勢力の総融たる



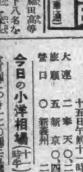












しわすき焼

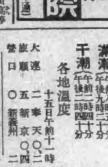
しわ水炊

銀鍋の御注文に應じま

しますか





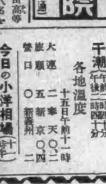










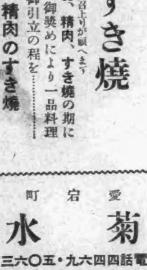








温菊水獨特 ました、本年は特に皆様の御奬めにより一品料理の通りひな鶏水炊、すき嬢、精肉、すき焼の期にチームの股份が河座いまでので吸むく河名よりが順へまで らどうぞ 相變御引立の すき焼













特に粹好みのお方にお勧めする
特に粹好みのお方にお勧めする
一生地は有名な蘇格蘭クロンピー會社製表面はなごやかな手觸
のに避味のある色調、裏は同社獨特の雅味ある稿の二重織三りに避味のある色調、裏は同社獨特の雅味ある稿の二重織三の四年流行外套地の極致をなして居るもので御座います。 連 鎖 街

















江

(259)

新研究法の發表



美を求むる女性方

山本洋行 社会式株造製トマト知愛 別と 御先方地も弊店は一前丁子屋

實用足袋卸賣

満洲總代理店

"秋のラヂオ"

RCAピクターラヂオ

新型七球

150回

大連市信濃町五六

4148 4149

上野薬局 類似品と御比較あれ

か

な

0

ースに

1:0

驚異すべき性能

斬新な外觀意匠

低廉な價格

御申込次第カタログ進呈

行

出張所奉天浪速通 2698 新京大和通 2571

音樂

急 燈火親し む 0 机 上

第次 臺商

方能 即自合

ートスータンセ 明金 北) 御引立の程願以奉ります、地度電話の左記の番號を新設致しまし、関店以來皆樣の御引立に預り厚く御禮 元 東大 大販賣所 京阪 最 弊 髮 以上 理 髮 店 館

> 近江帆布株式会社 月星印 〇片式化李防水覆 可回 出 印印

神戶防水。油引防水覆 布布

滿洲代理店 合名会社原田組 大連市山県通二十一番地 **電話8111番** 支店·奉天·新京·大阪·東京

季御 節草履 9

即 履 店

(海 外 大人 ニ・ 200) 大石橋郷前 (海 100) (海 100 式

賣

元

大

倉

十二時間保つ 回の吸濕で

完全な漂布帶

階下卅錢 館

> 岡田時彦 の三尺物 度宽壽郎 森静子と 碽 樣 御

嚴冬。御用意は

館女博 東東 元賣數

店約特 (# 图)

品練買な「確信の廉價」な以て即提供数します

純毛メリヤスシヤツ ¥ 1.40 ネルワイシャツ ¥ 1.50 裏毛メリヤスシヤツ ¥ 0.80 白キヤラコワイシャツ ¥ 1.00 純毛セーター¥ 2.00

申又 二枚一組 ¥ 0.45 0.50 0.70 御婦人用純毛肌着 ¥ 1.30 同 腰衣 ¥ 1,30

破 格 提 供

純毛ラクダ毛布花額

¥ 13,00

毛皮ショール。辛 い 孤ショール 辛 23,00 御鯖人用毛皮オーバー ¥ 34,00 防寒帽子 ¥ 8.50 防寒 手袋 ¥ 3.00 毛皮トンビ衿 ¥ 4.60 毛皮オーバー衿 ¥ 8.00

パラマウント1933超特作品 (常盤座上映) 「戦場よさらば」衣装展 十五日——廿日迄……三階



高級炊事無用型

たるものもあるには根連ないが、次上のて居るからそれだけ神経は少上のて居るからそれだけ神経は少となる。一般順にいつて本年の下生物が最も繁観をも今年と同様なら

木米 水越株式店 大連藤島亭B五

招來さるべき

主義がその標準を極めた經域であ際能に物資が自由に選用され自由

還人るものさするが、これに吸ず である。インフレ 歌氣は私の目に使つて各國は自らの薬に軈では 一は野外 質暴の繁榮から来る歌に青に選る事であり、さらなる事 つある。一はインフレ影線であ

のやうなものは更に機費したりと、 多く砂形の製菓に大差はなくても、 砂森の筆器工場などでは本年より、 郷金の単語工場などでは本年より、

預り金 かいでは 質付金 会へい。 質付金 会へい。 質付は二萬九百五十 質付は二萬九百五十 質がは二萬九百五十

日。本。經。濟

高木友二郎

の府に熱なり

改正は當分延期か

ほ同期配常は五分据置さ内定して と同期配常、左記諾誘案を附続する咨询 際能、左記諾誘案を附続する咨询

昭和八年上中期於梁報告承認

南滿瓦斯會社

卅一日株主總會

能しない限り、その燃果を繋げる こさが出来ないので満洲國際局で は各継道部局で脱議し、今野貨線

日滿電報料引下問題

取近 の重役節談において

施御武職を整掌してるた佐藤正典事に就いては米に認定せわが、20

食社名称は現在の草窓

を建設され、現在外脈は襲成した。

会社組織に内定せるものである、 で大陸二百萬國全額搬込の株式

去る十二日新京に駅催の10世代 第10世間の中であった可信戦毎日村 第10世間の中であった可信戦毎日村 半年で帰連したが譲る 製銭舎の内容については外部に

運轉 資金百萬國を娶すて事業資金九十萬國のほかに

で立案された我國最初のアルコーとて事業資金九十萬國のほかに定職は、清籔記書記において企一 社組織に決定したものである、耐火試験所において數年來試験院一製さする栽を捨て、獨立の株式會

明年四月より操業開始

寺兒溝に工場を建設

精抽出大豆工業

里大な疑義が發生 倆鐵、滿洲國間に審議 命權問題で

日本機論では既報の如く來る二十で日比谷公舎堂に於て、酸機燃養の解火を駆けるに決定したが、東京に於ては同日午前十時より午後四時ま 中四日開會 日比谷公會堂で

日本から産金密輸の疑

高率買上の爲め

安 值 (15/20 10/20

政府當局で對策を講

| 一下二個七十五銭は

日流統継続見地からい差があるためであるさ

及產運動大會

尚ほ右の定数欧正は定時間を開催

高店

大五族沙大 石房 河

海運界活氣

對米州

であり、大麩は依然を であり、大麩は依然を 何によるこさで、配し

大豆强

米英為替高で

出來高銀對冷

あるが、その版本駅底が米大統領 の海外金市場オペレーション政策 に存するのは今さら説明するまで に存するのは今さら説明するまで 土建協會

昨年十一月來工費三萬八島道三四番地によって養工した滿洲土理が

八〇三二〇枚一二、五六〇枚一二、五六〇枚一二二二〇枚枚一二三二〇枚枚一二三一〇個

● 東野 (元初の) を で (本の) で (本の

スカリ1

は小僧次郎古 人ならば近け、非常時頭の少年 人ならば近け、非常時頭の少年

、當市は實一服の態で氣楽薄く三安、為替同事、米日七十五仙三安、為替同事、米日七十五仙 糸低落

分三安、為書同事、米日七十五仙 高、書市は資一服の態で氣業薄く 動柄 約定期 値 段 枚数 動析 約定期 値 段 枚数 動物 主月限 三八八 三〇・ 議職新株 六十一個四十銭 大阪短期 大阪短期

銭十三リよ日五十

間日 開土一副・・ 階上一副・・ 階上一副・・ 階上一副・ 階上一副・ 階下八十段 の時半より

十五日より上映・荒水、窓町駅と駅・荒水、窓町駅と駅・荒水、窓町

十 五 日 公 開 中 五 日 公 開

へル・ビロ

ゥ

ندااا 洒落 金美

本 は満洲國際の教会の養布を見て解 あることが明白となるに至り、從でられてゐた。ころ、その後滿 委員の離解れる認定は一般であるに完成できるべしさっていづれは重複となるべき設立 すので大豆新肥路開放の整要配と出っていづれは重複となるべき設立 すので大豆新肥路開放の整要配と出っているた。然るに完成できるころ、その後滿 委員の離解れも決定したれる間察 その豆粕は緑緑となるはか、 音楽の変数では、 ころまで変んだ後に至りた。 ころまで変んだ後に至りた。 ころまで変んだ後に至りた。 ころまで変んだ後に至りた。 ころまで変んだ後に至りた。 ころまで変んだ後に至りた。 ころまで変んだ後に至りた。 ころまで変した。 ころは、 ころに変した。 こんに変した。 こんに変した。 ころに変した。 ころに変した。 ころに変した。 ころに変した。 ころに変した。 ころになるになる。 ころになるになる。 こんに変 所有するのだから東後の低兇機はいち清戦は解社さも株式の過半を問いた清戦は解社さも株式の過半を その解決方法如何は極めて重大視が断に時日を要するもので見られ 石油、炭礦會社の設立遲延理由

滿洲金融組合 十月中業績

目立つた貸付金の激増

特産暴落對策に 當局は眞劍だ

懇談會 より歸連の田村氏談官 民

を関ったわけだか、例の涌戦改を関ったわけだか、例の涌戦改 を関いては頗る冷静に且つ合理的な改組を建設された、要するに至ったことが看取された、要するに至ったことが看取された。要するに至れた。

納税濟物件だけ

な本部より概念、蘇

鐵道輸送を受託

滿洲國稅捐局の脫稅防

同 一月限 三七七 一〇 出来高 四萬枚 総条 米綿現物十五ポイント高 株限十四ポイント高、米日均替七十五仙高、大阪三部は各限三四別 安さ低落な入れ湾市は総入屋の質 安さ低落な入れ湾市は総入屋の質 エ月限 二二三二 一〇同 三月限 二〇三三 一〇同 四月限 二〇三三 一〇

響部八五〇の世

満人のみが持つ幸福旅であらう 満人のみが持つ幸福旅であらう とこへて清か思はする

=

五ツ三

-=

七〇三州〇〇 七〇三州〇〇 七〇六州二〇 七〇六州二〇

四五洋山<u>間各駅</u> 〇九行強紙運屋 津の生ー 大学の明晩春には 洋服類意裝

大海堂 石松 五七郎 大連市途域町百町十番 大連市途域町百町十番

筑後屋的店 粮甚三町野香市建大

果飲

十六日小公開

為 替相場 (無質)(電質(銀百組) 1 志 斤)分の 個数向電質(金百組) 1 志 斤)分の 個上凍電或(百米) 110個名の 同上凍電或(百米) 110個名の 日本向電波(同) 221個人の 日本向電波(同) 118個の)

煉獄二道

東京期米 東京期米 東京期米

イガ

朝鮮最近の

面影

は新さなも来った概

に亘り炊事さ洗濯を以て

合せたなし歸滿す

原には三週間滞在の上各方の行機にて東京へ直行するの

比将校に對し會見を求め、承諾を得ば政黨政派を 離れ 物能においてどの程度を必然とするかを服を死へて無談でへしてし、近く政民

由討論を試みることになったが、照して知純理派數氏の名にあいて軍部少又國際問題についても日本理下の既經經過での

おいてごの態度な受賞さするかな解な交へて悲歌でへしさし、近く政民少批師ではよろしくその事を吸り、者しその地震にして認識に驚蔑わればこれな推議し、又思はよろしくその事を吸り、者しその地震にして認識に驚蔑の成行如何に指ちずまでのといふ。强硬意見を有し、感感感激者造態感の成行如何に指ちずまでの必要といふ。强硬意見を有し、感感感激者造態感の成行如何に指ちずまでの必要といふ。强硬を関う時といふ。最近に激度を表現している。

軍部側が原するか否かは疑問視されこの成行は頗る注目され

眞の農業朝

鮮の所在

数されるのの

地震の変行、膨慢の変化、対流の 以上は精神方面における變遷さ 其の好き調子に動きつ、ある、 まんの一端を申述べたに過ぎま とねが、大機において朝鮮の思 を入れる。 はんの一端を申述べたに過ぎま

「無能は重要してあるさは単せ、そ ・一般人口の教八物は農民である配職 ・一般人口の教八物は農民である配職

職髪の實行、膨膿の膨止、村務職場の質行、膨膿の撮影、色脈の探

他服の採用

垣

B

略意見一致を見たも

满

三首腦の意見

地香一卅町園公東市連大

が探察しな大

で力談、サイモン外根も松平大使

の制限内である。但も巡洋艦のの制限内である。但も巡洋艦の

第二種隊 第二縣逐隊 赤城、龍獅

米政府の意見

社報日洲滿觀

法權撤廢ミ共に

一察權の満洲國移譲 過渡辦法として大使館警察

加計

要くべきであるから関東殿な中心 意見を同くしたが開東、聴、側で 意見を同くしたが開東、聴、側で は満州國は日本のが久保護指導な は満州國は日本のが久保護指導な できたさの意見を持してるたが 原型の野恋に及び三位一體 の長官の下で長く意見 が着會議で茲に結末に到 達したものである艦町 頭制 一、治外 法 權 撤 廢と共 に 日本警察は廢止し端 門國警察によって統一す 二、治外法権撤廢並は大 使 館 管下の警務局構成を 改造し外務警察の強化促進 な闘る

態よ實施の段取 上京途次安東に

は大きの世界の一大は いますの時間は何んさもいへの がその時間は何んさもいへの がその時間は何んさもいべらうが を表されたる境、世人は姿外の 感だにうたれはしないだらうか できべてなる、要するに問題は 中央で調せらるべきものだらうか できるが参謀。部については 野務参謀。部については のにしていたらうか でものによった。 がその時間は何んさもいへの がその時間は何んさもいへの がその時間は何んさもいへの がその時間は何んさもいへの がその時間は何んさもいへの がその時間は何んさもいへの がその時間は何んさもいへの がその時間は一人は変がののであるが

海軍親補式

ないといふ强硬意見を有し、珠毘麻源有志思議館の成行如何にないといふ强硬意見を有し、珠毘麻源で見しめ、その結果、東京特電十五日登上珠忠源影響に髪加した少比代議士中総理派

以界の革新を目指す

の意圖と相反するともやむを得数館の声曲、総母の声の声音に等

十二次日印會商

印度側對日回答提示

学る磁震更生能にして正確なればこれに協調でる磁震更生能にして正確なればこれに協調で同に、對する社會不安の原因を

一時より三十分に殴って行ばれ右印第十二次本意識は十五日午前十

一、綿製品に對する從最初の限度 ある、而して日本代表は石川答 な詳細に検討する機合を與へら れたき旨な希望も新くて台際は 十一時三十分散台とた

好

ら合作

十月中の貿易

3

連携

議に上程器後の決定を行ふこさの対演所側、期東州、中華と重ない。 で、歌便連続問題、機關医監問題 ・ 歌便連続問題、機關医監問題 ・ 歌便連続問題、機關医監問題 ・ 対流文智易 ・ 東京十) ・ 東京十)

見易極算左の如と(單位例例、關東州、中華民國

警務參謀本部など、 警務參謀本部など、 かよのは話が大げさ

【ロンドン十四日登岡道】ロ 歐洲は

德川公 歡 迎 會

職能原體評議會席上國際職盟のリーニ氏は十四日イタリー公園 無力化を指摘し日本の顕進を続

イタリー首相喝破 『ローマ十四日鉄画通』ム

追ひ越された

第 である

第五驅逐隊、二十三驅逐隊、二一央委員二十餘名發集心河北問題に「前年同期よ可輸出は二千七百四十第一水雷戰隊 五十鈴、長良、名取 昨日午後汪縣傳、孔經經職氏等甲 輸 入 一四五、八三〇第七戰隊 五十鈴、長良、名取 昨日午後汪縣傳、孔經經職氏等甲 輸 出 一七八、九二三第一戰隊 金剛、扶桑、日向、

戦隊 金剛、扶桑、日向、

中央委員廿餘名參集

決

■

割

分

加古を抜いて古鷹ご交代させた 所が昨年度ご相違した所で他は 所が昨年度ご相違した所で他は 所が昨年度ご相違した所で他は

十九騙逐歐、三十騙逐廠 第一潜水戰隊 · 長鯨、第七潜水 隊第八潜水隊

北支問題を討議

行ふ事さなつた

□利

2

收

九百

萬

十度艦隊編成 十五日繰上げ發表

一印刷が開に合けの時は十八日午

たので十七日の閣議に報告する事が出来る品報告したり。本本が出来る品報告したり。本本 七日午後一時より愈々第一回達

の建造計畫の修正な企踊するに至地造計畫の修正な合同である巡洋艦に比し明確に劣勢さなるに至つたので明確に劣勢さなるに至つたので明確に劣勢さなるに至つたので明確に劣勢さなるに至つたので

心 学 艦二隻を をのである、

央海相の聲明

になるものであるさ信でる、 特楽 地は遠隔の地にないので来版が反對するであらう、 蓋し米國の海軍根 原地は遠隔の地にないので来版が反對する の可能性に就ては米國が反對する の可能性に就ては米國が反對する の可能性に就ては米國が反對する の可能性に就ては米國が反對する の可能性に就ては米國が反對する。

豫算閣議

官は明年度機算實定も終了し十六の縁上定機関議に於て黒田大藏次の縁上定機関議に於て黒田大藏次

第二十六縣逐承 消風 第二十六縣逐承 消風 安宅、潮、

十九、第二十九、第三十潜水踰二潜水踰 由良、迅鯨 第十、

開記、米國得軍監視は更新の地球 ・ 電の強化を行ふ事を動則した性 ・ 電の強化を行ふ事を動則した性 ・ である。 ・ でる。 ・ でる。

第四戦隊 高維、愛宕、摩耶、 、第十、第十一、第十二驅 水雷戦隊 那珂 家一、第十二驅

日本の日英民間協議会代表諸氏は英國の誤意を理解し風流解決に野力される事さ思ふ、英國はに努力する手段か見出さんさ決意して居るのである

第

を避けながらも次の如き意見を述

□當社は去八月末日第三十一年度計算を締切、

□年度末契約總高 前年度 □年度末資産總高 壶億琴千萬團增加 拾壹億四千萬圓

宋に比し 貳千七百萬圓增加 壹億 七千五百萬四

間社員各位に其要點を御報告申上候。 十一月十五日の社員總代會に於之を決定致候

生

に前比年 し度 四百八拾萬圓增收 壹百四拾萬圓

口收

λ

保

に平均資産 金 六分三厘 百 六拾 利遇

一死

Ċ 七 五百七拾五萬圓 萬分圓

六 壹千壹百六拾六萬圓 分 六

職早寢早起あが家の寳

□責任準備金の積立は純保險料式にて膏億四千 **参百餘萬圓、而も記帳資産總額壹億七千五百** 除萬圓(時價一億九千萬圓)にして其開き等

頗

千貳百餘萬圓あり。

□保險契約者配當準備金として本年度剩餘金中 率を従來通り四分五厘と決議したり。 百等拾萬風に建す。社員總代會は、 より壹千五拾餘萬圓を積立て現在總額貳千五 來期配當

□之を要するに事業費及死亡は、依然として豫

良

定より頗る低く、資産利廻亦好調にして社嫌 は確實、經費は低廉の一路を進みつゝあり。

東京市 京橋 第一相互舘 第一生命保險相互會社

電を訪問して次の如く慰認する事 をおはこれるが一種日中に監検 とな有してゐるが一種日中に監検

蠶糸專賣建議

保險案內贈呈 保險料 最高十二割六分 最低四分五厘

一、聚系の操業短縮政行さ同時に 明年春繭の強制減産をなす必要 ありこれがために明年度より諡 精の國家統制をされたい 、 動の國家統制をされたい

東株理事長後任

□當期實行配當

□外務員を招聘す 希望者履歴書送付あれ

東泉の護道を引きる。 東泉の護道を明に促り他然後低電 東泉の護道を明に促り他然後低電 が認底腺を成し、早くしその下 に混沌さして準衡を診さぬが設下 の所では昇板率氏の略繁量し降し の所では昇板率氏の略繁量し降し の形では昇板率氏の略繁量し降し の形では昇板率氏の略繁量し降し の形では昇板率氏の略繁量し降し の形では昇板率氏の略繁量し降し の形では昇板率氏の略繁量し降し の形では昇板率氏の略繁量し降し の形では昇板率氏の略響量し降した。

能感い教養のある婦人達が率先し 能さして實現され、其の中には概 認め得ざりも婦人の展外勢低も鑑 認め得ざりも婦人の展外勢低も鑑 認め得ざりも婦人の展外勢低も鑑

秋ばから各所

のリール では、一年年秋清州事豊都 を認に大なる神戦を受け、又昨春 が悪に失いる神戦を受け、又昨春 が悪に快いまして、極心風方 を認にに関いまして、極心風方 を認にに関いまして、極心風方

が最近に至りて着々さして要様せった窓を住てか物で奉仕、破外のでは、一般を放けって着々さして要様性

他では依然さして増加の候似を

朝鮮總督宇

の大学、時代の推動に歌歌めつき。 総製なる最大多数は管成一致の多総製なる最大多数は管成一致の多

が論反日態度を有する

かりありて蒙族の幸福の角め

蒙族の自覺發奮

前述さ見られるも、四層の惨然さらの脈像上より見れば明かに縦立のの脈像上より見れば明かに縦立のの上での撃古中央

機に注意するに至つたのは決し 大の背後には別な原因がある、 自治要求の徳士(即ち鶴豊の副 自治要求の徳士(即ち鶴豊の副 を機で新京に行つたさ云ふ武も あるが政府は未だその報告に接

してるない

ずるものであるさ
が光冷間壁であるから従來の 水 草 を追ふ 生活を 絶對に改めさせ、安全地帯に安定して居住せして対外次間壁であるから従來の 水 草 を追ふ 生活を 絶對に改めさせ、安全地帯に安定して居住せしてが光冷間壁であるから従來の 水 草 を追ふ 生活を 絶對に改めさせ、安全地帯に安定して居住せしておかり付款により今後善處することになった。内容は必然に附じてゐるが仄聞するに百萬の颠峨人をして愛定せしむるの根本的方針により今後善處することになった。内容は必然に附じてゐるが仄聞するに百萬の颠峨人の保護問題に就ての緊張を帶び機骸形、颠峨範鶥倒着さ打合せのため來緘した颶東戦闘田大佐は十四日、京城特體十五日豊」在消極戦人の保護問題に就ての緊張を帶び機骸形、颠峨範鶥倒着さ打合せのため來緘した颶東戦闘田大佐は十四日

のゝ、質は獨立の小手調べであ要求とた。自治要求とは云ふも

既出身の白雲梯を参謀さらず

交徳王を首班で為し欧明心中

滿朝鮮

保護問題

關東軍、朝鮮軍、朝鮮總督府

三者間に

口約成立

初の挨拶を述べて色々漸洲の事を詳細報告して來る積りだいや有難う、君達が餘り難ぐので単なる事務報告がすつかり問題になつたよういや有難う、君達が餘り難ぐので単なる事務報告がする割である。氏は語る路東上したが同髪事宜は京城に立寄り宇環總費を訪問する割である。氏は語る路東上したが同髪事宜は京城に立寄り宇環線費を訪問する割である。氏は語る路東上したが一般では、大使鐘鏡はの外、在京中のモーー後十時費で学佐美浦洲國攝間、複本意兵大佐、大使鐘鏡はの外、在京中のモー

約三週間の豫定だか京城からは飛行機で行く、外相に最

紙特派員クライブ氏等多数の

派員グライブ氏等多数の見送りを受けて質が事官は石出書記年を選件十四日

谷參事官總督府訪問

を廣田外根に見申すべく

(一面参看)

【新京十五日登岡通】在流撃終機踊の統一問題附處地問題を始め山龍す

る重要形象

兼井支配

休職命令

服せ

大豆保

六二一三一五

金福鐵路公司の

て度院せらる、は物彩 というのかりさの理由によ 八、20分れる保職措置な否 九、20分割を受理する能は 長に難して 着機

派代表會議は十八日午後二時上版代表會議は十八日午後二時上の新聞中央卸賣市場問題開始に対する市會の態度を決定する

は十八日午後二時よ

関東藤辭令(十五日)

卸賣市場問題

、家族の幸福か謀り、

會議所定期總會第三

聲明(金)

満鐵改組案に

| 「「大学・一日 | 第二日 | 第三日 | 第三日

時に在取門野社長に宛て同社総立に内帳を報告し至公子族総立に内帳を報告し至公子族

滿臺連絡會議

報表類は可及的統一す

十分大連藩々外着の豫定

協定下打合

提出し明年二十分数 は満難で作成 は満難で作成

一段でして考慮せらるべき、水質で重線での二線連絡は、端洲國線に延長した四級連

長)十五日午後四時二十分發列長出新郎氏(大阪商船天津支店

東京特電十五日曜 日本瀬工會 ・ 下間駆化せる諸郷吹遊に騙する ・ 下間駆化せる諸郷吹遊に騙する ・ でいる。 商標法。は委員附託

地總

六千七百廿三萬八千六百人

比前年九十四萬增加

たもので大機に於て實際の人口さ大差はないものさみられる、而もて男女別は男三千三百七十九萬六千四百人で男女夫々の増加率は大體均衡がされてゐる尚市部さ都部さつ比較をみる、市部二千九十一萬四千八百人さ前年に比も百十一萬一千人な増加せるに反し都部は四十六十二萬八千四百人を減少し時勢な反映して人口の都市集中な知賞を見からても、

でつまられ、解しまでもは、米国が同意だしも、解い腹ををぐられるだけでつまられ、解してもない。 一般を4全略米人の信教の要がない本変要なきも でつまられ、解してもない。 一般できない。 一をない。 一をない。

野事はこれを携へて十五日午後四 「職来職に提出すること、なり竹甲 「職来職に提出すること、なり竹甲 「本に同理事は新京より精連後改 なに同理事は新京より精連後改 なに同理事は新京より精連後改 なに同理事は新京より精連後改 なに同理事は新京より精連後改 なに同理事は新京より精連後改 なに同理事は新京に赴いた

關東廳に提出 満 鐵 豫 算

竹中理事携行新京へ

衛氏は天港通過に際も左の如く膝 黄内迷部長の内蒙し思さなつた。 東大脳心事であらればならぬ故に 東大脳心事であらればならぬ故に

のが、国民政府が何等かの静脈である が、国民政府が何等かの静脈である はに疑める事は前述の所限により が、国民政府が何等かの静脈を設 が、国民政府が何等かの静脈を設

内蒙民族

自治要求運動

天津特溫員 小宮山

の野棚の如何は国民跡場の に難して天津大公報は耐論におい

の為め大罪な犯さんさも限らんは他國の傀儡となり國家で蒙人は他國の傀儡となり國家で蒙人間發を國防は急務であるが自治

| 軽寒節の結果に関ると論じてある。 を内蒙に自治欲所を認める事は と内蒙に自治欲所を認める事は

こさ こさ こさ 荷物の處分及處分手数料 現行日解論問連絡運送の場合に於ける取扱さ同一さず 八、荷物運貨支棚方法 總て發掘さす但し處分鏈更の場合に於ける取扱さ同一とす

綿糸弱保合

ば左の如く前年同期に比べ平均九十回の騰貴を派してるるが前期に 地ぶれば二十六回の下海を派し、 であるが前期に 電話相場 前期より廉 問題さなつてあるに概念ない。それよ も無くの大き五千萬ドルの情極の方が も無く、ソウェートは此方に熱中し て、北螺旋列は空吹く風へ北線を リカな間に北線を釣ったが、又アメ はにアメリカを釣ったが、又アメ

大阪三品後繼期保育を入れて常市 を引立たす歌調、麻袋は纏ちする の一月限 四〇〇 大阪三品後繼期保育を入れて常市 の一月限 四〇〇八九〇 一〇〇八九五五数

職報を添ふ

七十個人人人

便な地方でもあり、全地域に協 数必ずこも多からず、交通の不 数のでも多からず、交通の不 事情によりて、此の獨立運動は あ続側を取りて有力な闡結を作 積極にも消極にも急激には鞍展

支那新重荷の

社

說

內蒙自治要求

である。 であらう。耐して之れに乗する し種く 内臓のソウエー 内蒙のソウエート化はトの運動は注目すべき

されればならね。 徳王等の思想を養成した國民主



◆ 最近線町一番地に地宅して来ました者ですが前代所にて非常に を はれるですが前代所にて非常に 皮織のよかつたラデオ(演電で で対かの大時、七時さいふ時間 に対かの大時、七時さいふ時間 に対かの大時、七時さいふ時間 同間 大時には でないから本

は聴きの総とのと のも常然の様に思

したのによ

副社長の

の放験しない立派なものだとのの味えが悪いので裏門の方にも

ますと百ポルト 99 99 100 100 # # | | | | 柔弱なる保護者

●整成な四大部の一たる明治部の 機式にタカが一時間やそこらの 機式にタカが一時間やそこらの 人であるかを私は疑ふ

中常時局の日本な背質つてたっ ・非常時局の日本な背質つてたっ ・非常時局の日本な背質つてたっ ・非常時局の日本な背質つてたっ

て國家の重大な儀式まで

▲哈 五七二五







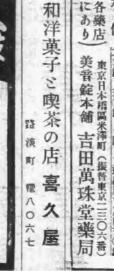
今定期後場(單位於) 等付高值安值大引 等付高值安值大引 等付高值安值大引 與物後場(單位於) 與物後場(單位於) 與對金銀對洋金對洋 一時111克至 1至天至 11050 三時111克至 1至天至 11050 三時111克至 1至天至 11050 三時111克至 1至天至 11050

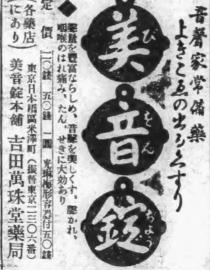


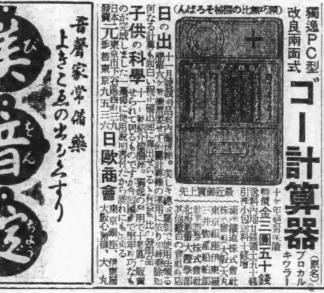
際へられて、さ

材料薄に

鈔票保合











計 算器であります。

産

鉄ベンが錆びないこと

世世世界界界 特

五品低落 市

概念に思ひます、迷惑な響じて あられる方も根常層られるので はないかさ存せられます。 せれいから何さか規定のボルトを出 す様にして親けないものでせう か、是非お願び致します。

正べられてゐるでせうが、土の

多籠りさせる

盆栽や花卉

四三

ねんれていんがは街更いやだ。長いいんがは赤ちゃんごめん。

可愛い赤ちやん子守まかせは大の禁物の度を越す日光浴せぬより悪いの

の日光浴せぬより悪いのれるしなくてならぬ日光浴のれるしなくてならぬ日光浴の

赤ち

うい恐るべき

態質です、こんな

鬱な極々の

終で結核を

影響して

来や

可愛い赤ちやん

色々

お事は結局子供のお腹を空かせる しなまづい食物でもほんさに心か 言つて、子供自身心からおいとくを寒慢で記算して出来るだけ滋養 「日三度づつ喰しく言いながら無 さ親みを持つて来ます、滋養腫のの多いものを食べさせ様さあせる 「日三度づつ喰しく言いながら無 さ親みを持つて来ます、滋養腫のの多いものを食べさせ様さあせる 「日三度づつ喰しく言いながら無 さ親みを持つて来ます、滋養腫の寒慢慢を記算して出来るだけ滋養 「日三度づつ喰しく言いながら無 さ親みを持つて来ます、滋養腫のの多いものを食べさせ様さあせる 「日三度づつ喰しく言いながら無 さ親みを持つて来ます、滋養腫のの多いもの多い食物だからさ 「日三度づつ喰しく言いながら無 さ親みを持つて来ます、滋養腫のの多い食物だからさい。

予照ももうあた、かい窓際や職等 るものは今のうちに恰好よく切込になって憶さんの大切な登録や応 なったもの、機製の伸びすぎてる しい よ │ ~ 燈頭の季節 おくなったのや下葉の上って酸く

週健間康

週間 診断券



周田や底も郷地に洗ってやります。 一四四七二 の温度は普通の よく窓識がつきますから素製も一 の温度は普通の です。山草線、高山橋物等を期東 ちはのものは三十度が至四十度位 の所に置いて冬眠させた方が安全

第二 オー月十六日

各地相談) 二二

日 かよく出る、神經質である、緊部が登載い、また風邪なひき易く、微熱がき難ひがあり、彼れ易く胃臓が

を知らないならば何時選輯っても 病質の子供に 野物即ち紫素を乗へ るには次の四き事様が最も大事な を知らないならば何時選輯っても 是生等 い者木に多く見られる協様見た様 なもので、是等の協様のみに象な なもので、是等の協様のみに象な なもので、是等の協様のみに象な なもので、是等の協様のみに象な なたにするために肥粋な製へる事 ながらないならば何時選種のでも

食慾のない好き いつもだつては横に平にゆつく

格れない車の かうのは乳母車でい それも大きく

早起だつこはどめんなさい

ちこわしたり花様ですさ花をつけてがさたりしてが角のよい形をぶ 人がありますが、低温度に適するます。よく宏楽類を温室に入れるます。よく宏楽類を温室に入れるます。よく宏楽類を温室に入れる 注意せればならない大事なことで

になるからです。温室内は進だし のります。灌水は土の乾き具合を見 てやるのですが、よくわからない 時は鮮の脳を一直に水を撒いてや てやるのですが、よくわからない で見て土が酷けれてくりして見て土が酷けれてとす。又土を指先でおさへ で見て土が酷けれてくりして を絶やさわから離水が必要です。これを絶やさわやう針の下に水盤でもなからいで質によって一般には云へを絶やさわやう針の下に水盤でも るまずから灌水が必要です。これて見て土が固ければ水切れがして あやしみ質す来つ幼兒 なに見る父よいつべに在りしかさ

連

AAA 詞六六 六七 累 △ 八 ○ 三 ○ □ ○ 六 ○ 三 ○ 一 歩 歩 角 ●

るよりも出来るだけ子供を外に連 れ出し新鮮な空氣を少しでも多く たださせ、天惠の紫外線である日 手荷物に由ゆとゴルフクラアかなハルピンゆ礼用をきにし行の君の 前島い づみ

出来るだけ子供を外に連

原因 にさ思ふのであります、重要の

の子供の非常に多い滿州では特に 熱經質な子供、即ち総級強線減算 本と子供は純經質さなつて仕舞ひ

第一 は充分な睡眠に 動物の愛養であり、睡眠は融密の を振るこさであります、食物は 後のて熟鰹の髪

食製の旺盛な子供に除ってのみ乗

ない家庭の子供は致し方なく自然ない家庭の子供は致し方なく自然 驗 新 香茶香迎段三段

を いたない。 を であるさ同様に出来るだけ多く新 をなびかすであります。これ等 はな空氣を吸び、充分に直射光線 をなびかすで関リ土壌に親むさ言ふ をなびかすであります。これ等 **空氣で響常な光線でが何より大事** の整確であります。草木に新鮮な さず、草木に新鮮な 土壌による皮膚

大熊に育つ子 水底に育つ子 水底に育つ子

す、佛しながら充分な食態のあるす、佛しながら充分な食態の多少等頭には別に滋養質の多少等頭に上る食物で充分で是等の食物を子供には別に滋養質の多少等頭に上る食物で充分で是等の食物を子供に完全に消化して完全な製質を強すて行くものであります。凡ゆる滋養質を自然のま、の形で講覧をないます。

イで極力がんばってみるべきだったのです。 原 五十七以下、いろ (一巻へま にたが、この白の活路をうばふ ここは結局不可能でせう 無(多四)白(レ三)の交換を 黒(多四)白(レ三)の交換を 黒(多四)白(レ三)の交換を は一態(レニ)さオサへれば 黒(タ四)白(レニ)が、その は一態(レニ)が、その は一態(レニ)が、その

動局者のことば 五十四は考へが足りませんで

黑三時二十八分

次に睡眠・紫外線に親しませ お腹を 0

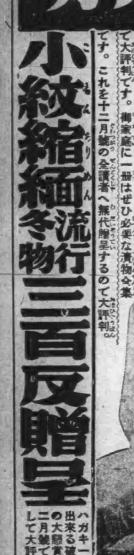
棋院季大手合戰譜

0

二四三五三五

- [4]

二段伊藤子 -





出來まし 出方で



を印度に仰げる水邦同職界の現版 であれば該雲母層要見の嘘が立つ さゝもに地元有力財献及び三井、

の「黄バス」で同覧公司「青バス」

サービスをなし乗者に便宜を興くして遺憾なき

る。例へば小東連門な出費したがそれは歌、帝の場所さが變更されたがそれは歌、帝のバスさら各様な伝復する。例へば小東連門な出費したがそれ

福陽館に投稿した「これから何處 (?」で問ふ謎しなく今の調子で 気が向いた方に足を向けるばか 気が向いた方に足を向けるばか するかそれでも明日にするか、 それずら決定しないのが僕の版子 行だ、ナアーに人間でいふもの は可しないのが人の調子で

でに前の大東海門から そこから千代田通りな

躍進する經濟

つたのである、養見者は像が行はること

育成な胃とつ、喜心質の山なの方面に目なつけて数年來師

黄・青が入亂れ

漁夫の利を得た市民

ス戦線

大ニ

コ



殉職者招魂祭

衛全風の一代

日案内

金三拾錢增

和傘

電六一六一 小林乂七支店 廉價敬賀 見本即刻持参

西公園町六九 西公園町六九

その能感を期すること、なり、保 際調査を行ふ事となったので率天 に関係者其の他の援助を得て

リー方子代田涵より馬路で、大西」を得られる事さなつた。小西場門一區、小西場門小西陽一のバスが循環逐行する。

荷造りの不完全 小荷物拔取りの原因

潘陽驛事

奉天の

摩天驟の一館局者の語るこころに 「墨天」近時小衛婦の接取が輝に 一日小荷物取扱は八百 本では、自分の方さして はいでせう、自分の方さして はいでせう、自分の方さして はいでせう、自分の方さして はいでせる事がないさも云 陽野入換機六六二號が

原駐中奉天の一番概を通

【華大】不景氣な他所に料理店、

大連市西通三五番地大連案内社大連市伊勢町五三拓浅洋行紙店

料理店景氣

カフエー、総食店方館だけは不能 無知らずで附属地料理店二十八年 利知らずで附属地料理店二十八年 ではよれば花代七萬二千八百三十

包紙 さ組各種

門札

瀬戸物へほり込み

一六〇四

白帆・天帆高級側化粧紙は

土産は密東百貨店支那みつけ部へを活三一七一番

西山 泰二越商品券五分引買入 泰斯業債券電話賣買金融 拓笼洋行紙店 北五四三九番

大家 日本人向大小各種、食八 車通橋立町十一鷹天市場前電 橋立町十一鷹天市場前電

愛知縣人や石橋大尉等が發起で

日露の古戦場

于洪屯に記念碑

業態調查

から同年十二月二十一日に

奉天管内で 本経線が常に最高を争みされば二萬風の増額でき を経緯が常に最高を争み

寒氣

死線を彷徨するルンで 四日その版へ捜査職ひを出した で、不審に想ひてんぐに電話をかって、不審に想ひてんぐに電話をかって、な男は来ないさのか。 があり、、飲み遊げらた事が独り十一

少女

関 日 を 別 を かい や 電話二二 六四五番 電話二二 六四五番 電話二二 六四五番

一一一一

貸衣 裳 日座町

築太樓の。 像艦管駅、茶菓用には

品

女中

イワキ町 新古寮

電話と

電話三七八九番電話三七八九番電話三七八九番 (電車両陽門前下)

古着時報

電大六〇二番

整門 X光線應用

二五九五

院

古着特別高價

ます」で勝手な話かれ ないので職人の方や 山氏は十三日着低したが、原田氏は秋山藤道、原田典四久朝氏で秋本は秋山藤道、原田典四久朝氏で秋本は秋山藤道、原田典四久朝氏で秋本は秋山藤道、原田典四久朝氏で秋本は秋山藤道 警務局指導官

州公會党で開くこさになった するものがあるので、

昨年十月主人の不在中彼女の去職 数市居住林館一郎の妻群子(**)は 数市居住林館一郎の妻群子(**)は 等な機めて所在な晦ました

金融
丸大商會取 老舗・賃買手ングミシング

電話で装製更せずさらは地で大大三 大連室

交番賽運為 控光社 海相談に施了 派遣多忙會員至急募集 三浦 芳子聚鄉新一丁自三四六

山泉 借九六八七話電







金酒







日本本の四三川五十十

發見された上 八 雲 母 鑛

愛見者は鞍山近郊北立山の岡部氏

である。 一百五十歳の職員は完全に世界的 一百五十歳の職員は完全に世界的 上なってある、耐して埋職婦は目になってある。耐して埋職婦は目になってある、耐して埋職婦は目になってある。一世、日本ではないが終一千年日五十歳が順ちその め飢機中の緊绕犬も近と熱が地質調査に出場中の根状師の 製庫である 本天暑に 水上警察 | 大上警察 | 大上下 | | 大上下 | | 大上下 | | 大上下 | 大上下

三千萬圓の輸入防遏

四十名增員 水上警察隊 密輸取締に

地に戦闘を永へに記念すべく愛知れては、は此の武動を永へに記念すべく愛 は在滿愛知縣人會より支出するり三萬五千圓は愛知縣で、五子

前代議士田淵氏・例の調子で 仙人現はる

2前安東縣で観然姿を現はした和 「事天」 淅洲に仙人現はる…… 敷

安義武道大會

して赴任する二階堂大佐は井上守る一巻河承徳に特務機関長さ 承徳に赴任

澄面、水町柳柳草共

恩給

家政婦/通勤入込募集 対一年意入用募集 女中至意入用募集 大連市飛彈町五五日本橋東二丁 大連市飛彈町五五日本橋東二丁 大連市飛彈町五五日本橋東二丁

會員 至急募集寄宿完御 会員 至急募集寄宿完御 大連 西部看護 婦合主 大連 西部看護 婦合主 會 添護 至急募集资

くでも金位儲かるさき

日香では一郎

何にもありやしない

四日奉天署に捜査順な送つて來た彼女を捜して帰らして下さいと十

譲店 商店向目質の場所 玉 壁 電ニニル九三 屋 電ニニル九三 屋 電ニニル九三

譲店 パー溪迷町都合上譲度

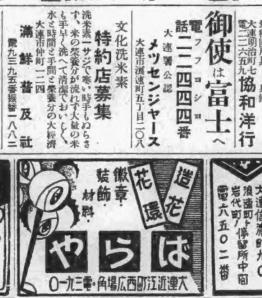
一切病人附續運動住込何れも 派遣 話而三武





では一方

婦別





美給サン募集 大石橋カフェーリリー 意志堅固の人にもて二十歳前後 製徳街四ノ一四八 一四八二十歳前後

専門の大気堂へ大連市祭町二電話四二四九番大連市祭町二電話四二四九番 信寫版の御用は

内歯科 西広場中央舘 東京歯科医学士 北屈 内 宗 衆

電話22990街

强力治淋

春見部隊の凱旋行進 春見凱旋部隊が 平天總工會を中心に 慰靈祭執行 協和會の大活動 工人の國家觀念養成

文紙會見本市

飲み逃げ

十四日奉天で

者の既敗と言るとは、大阪戦消女を取っては影流

異れぬかでない。

【事天】圖々しい無銭遊覧十二日 を十時頃十間房料準店加久萬に年 を十時頃十間房料準店加久萬に年 を1時頃十間房料準店加久萬に年 であり翌日夜九時まで湍速から

される之を昨年に地数するさ三台 をれる之を昨年に地数するさ三台 の増加で更に縁起の類似期に入り

實印

前 一魚常 電七八気九番

高度 大連駕 高語三五八四番 大連駕 決済主を接続

表お

牛乳 牛乳 牛乳

妊娠あんま小兒疳虫針 い、あんが、ア多、マツサージ、あんが、腰痛、子足の痛、胃臓病 学大連権番向小融へる







十周年記念式

(日曜木)

總されて終十年、何時高れるともチハルと深草の身な外突界の窓にチベルと深草の身な外突界の窓に

土道樂土滿洲へ

白國から就職依賴

想像される歐洲の不況

報

の旅順青年

八は吉野屋の店員

【響口】繁山縣に於ては織て荷里

一般の拍手神に容時半終了とた 窓 特別の指手神に容時半終了とし、窓 營口驛の作業

好なる成績を納めつい

員はその優劣を許し吹良いのは、生物を開発にありなからず各村長が

を対するとき人間の知く著るとき人間の知く著るとき人間の実施に流れませます。

拳銃强盜團

高萬財逮捕さる

四平街憲兵隊の手に

荷車曳いて小學生が 大好評の實習

別問目昭和八年五月、別問目昭和八年十月日
石は浦深事變に関する戦軍費さ
右は浦深事變に関する戦軍費さ

金千三百圓也

正三位動一等功二級 菱 刈

工業競技會

東取調べ中である彼の註文明も目下その目的使途につ

逢阪はホラ吹き

入営で 縁は切った

弱り顔の吉野屋店主

を観見した分局員は背後より組み 一環二十髪を所持しるの地の草叢中に匍匐する一満人 拳銃二振、端丸三十指揮して捜査中同十一時五十分ご を見失び斯く連排に 角海龍の乾兒 劉玉書逮捕さる

殊勳の騎兵第四中隊

職気を実施する手管を定めてある。 で場合によっては管内居住者にも で場合によっては管内居住者にも たが、附属地と関接の部派であり温 たが、附属地と関接の部派であり温 が、関係地と関接の部派であり温

情別宴 第十六驅逐隊

農產物品評會

陸軍藥局方收載

が、「旅順市場合務成式は既報

四平街地委の

合

が記にありますが真一品質の時は酸便カワセか撮影で値、千二百歳八十一臓、二千四百歳八二十嵐、独る所の、千二百歳八十一臓、四百歳八二十嵐、独る所の。 河

營口で旅券 営口警察署

のであります、一般の主要な 被の主要な役目を行ばしめる をも要な役目を行ばしめる

入院應需

李

は何のため

は分局域の原たが売いに弾く背後の は分局域の原たかすめたとけで後 は分局域の原たが売いに弾を はからまばなかつた。一方設勝と でで変して、一方設勝と できて、一方設勝と できて、一方設勝と できて、一方設勝と

これは硬化しない動脈の解析 です故にあらゆる考表病・ウカけ職能の一般心症、中かけの一般のではなかりなくが、中の一般のではない。

番

行同地第二分局は十二名を兵を率ぬサイドカーにて現

故作井軍曹



新院配代証、他配元派記には撤載税無漁賃来をお薦め時整備が女昭がを搭敷せむと続し玉はよ第一に動脈の悪仏野船が女昭がを持蔵せむと続し玉はよ第一に動脈の悪仏

まいがする、関係、原政、不配などですすぐ微質水を浴血、中風、彼心能の耐光は耐がこる、耳鳴がする、 海貴來適應症

経、関係で脱紀、便秘利尿、胃のこり、腰縦を検此、離経肌、ウウマチス、ヒステリー症、心 炎病症、総統解、リウマチス、ヒステリー症、心 変弱症、総統解、リウマチス、ヒステリー症、心 海貴來定價

淋病 內 服新

一劑 約二十日分 金一圓二十錢 特約店 栗州案內進品

効力本位

一劑併用 により血壓を低下せしめ自然的治癒を速か

大連市伊勢可

福音洋行

元小坂医院跳

血壓亢進ホメオポ

パシー薬剤は多

ネマン博士創設

喘息さ一般咳嗽鎮静劑

に大衆的家庭の常備業として解析の短利設度を解析に提供し強軟以来想像以上の好評を賜 アスモンは古來の名置が和遠樂中の秘樂としておつた楽用植物を

製造元 順天堂醫化學

性射劑あり 商

百 能 入 一次OH 大阪市東風道修町三丁目 地新久究

發賣元

佐市連7

かぜの美と名が付けばよレデモよいと思ったら大間違ひです。曹伽を置せず、位職を を変し、頭痛を認め、確かにねつを下げる です。曹伽を置せず、位職を 急天堂株式會社

印の

法等があかられたで来で



二七通縣山市連掛六〇二八話 吉

陸海軍工廠、軍艦及船舶内の修理用の設備 航空機製造工場各工業學校、鐵道工場其他 一般の鐵工及諸會社工場の修理用具に達す (カタログ進呈ス)

据付位置を示す



諸機械工具商

店 名古屋市中區裏門前町三丁目廿一番地 大阪市西區立實場北通六丁目 東京市芝區田村町二丁目八番地 大連市山縣道二十一香地原田組

スピーサ超の場化孵工人置玉

途 雛 絕 對 送 容 安 易全

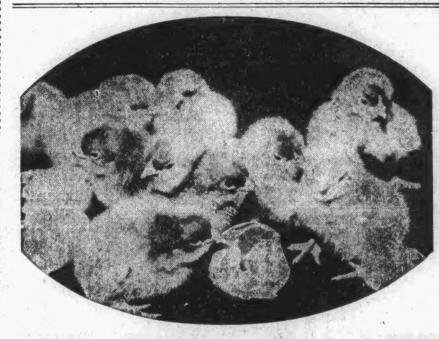
詳細カタログ御請求あれ

品

生地八羅紗本

證

今又グ御注文アレ代引デ送ル現品一見ノ上、不向ノ節ハ即時返金ス此ノ品ハ絕對品質保證ノ高級品ニテ必ズ市價四五十圓ノ値價アリ



滿鮮養鷄の有望を確信す

響

田中日日

萬年スタンプインキ台 使へる 専養 特許の

雌若と雛中

の産多秀優

秀多 生な

就一三五五六一事案新用實 號七〇一六 一 第告 公

號五四九四九一第標商錄音

賢證 元元 名

作發所



尖端を伝

好評!

が満天下のポンプ界を 好評! 川本製作所の大躍進

断然リードせる!

行

番八八九三局南話電 〇九屋古名替振

三寸五分斗用金拾八圓也三寸二分斗用金拾八圓也

高所送水防火兼用

防品級高最

賣特大バーオ附襟皮毛



金城商會羅紗部

振替名古屋一七六番

羅紗本ラクダ高級襟毛皮附 三尺一寸同値御指定チ

(全國送費無料) +

也

20ダ上等品ニテ裏ハ特品朱子總裏付、仕立ハ高等職人ノ別製ナリン/核産毛皮ニテ陸細毛ニテ、光澤アリ、耐久アリ、体裁高尚ナリ 兩前型値段ナレバ片前ハ一圓安値御指定ヲ

流 行 防寒毛皮 練附オー 端!

斯界ノ

半命

大量製產

市價ノ半値

時代來

登ス皮學運小手 リバ リッン生動供神士

袋パド鞄靴

1/2/11: 種六・棘・黒・朱・藍・赤・栗 店支連大社會式株ータイラブイタ本日 一七四八話電 五〇一通縣山市連大 會随構舟

別色

元遊製

店理代總洲滿

蓄音器・



器

菊

(呈送報商錄型)

屋問卸造製 谷

0

需

四町見伏區西市屋古名 番四五四三局本話電

1933年式最新型スタイルを

パ大特價提供!!

確かに賣易い品斗りを揃へた

最新獲優秀

冬物羅紗製品各種品揃

製紗 遊舞問屋

名古屋市西區上長者町四丁 O 野

新華尼古屋六〇二巴著

標準として製品せる……弊店特製品 一九三三年 式新製品



鈴鷲印ワイシャツ

發電元

(カタログ進星)

桃太郎護謨製造本舗

名古屋市西區御幸本町通七丁目 振替名古屋一四〇四四番

和朝鮮見本市協會員名古地愛知縣廳輸出協會員名古屋市 勸業協會員 古名古屋使良製品同盟會員 日 名古屋共和商榮組合員 名古屋見本市協會員へ 由土 貿易協會員

ランク折

(コクシゲウム 送料 箱 アンプ 療症 + 钱錢

定

記入御申込み実第 出入がキニ 新聞名

發五十二 部-

區中市屋古名 子瀬町 見廣 等九三 X 四 南 話 電 番八四九——產古尼替振 社友鷄

名古屋市新荣町九 本横廣信一手取扱

電 話 東八二一 掛 鮮滿通信社

週間第一日の行事

けふ六時半から協和画館で

講演と映畵の夕べ

の方法で」に就ては、各方面 一大学の演題「漢生は各自各が含夜の演題「漢生は各自各が含夜の演題「漢生は各自各が含夜の演題「漢生は各自各が含夜の演題「漢生は各自各が含夜の演題「漢生は各自各が、なるべく學く來場を希望を表現して、東島に認和五学に無物であるが、教容力に制態があるが、教容力に制態があるが、教容力に制態があるが、教容力に制態がある。

(日曜木)

督つて置籍問題で

| 「原形院工トニコートを使て、四版したが火山総部隊||十五、それに第〇〇順の一部隊は「衛門子及び五家」 如くこれをけ散らしその機能地た がに於て退場中の強地で名で徹底で子及び五家 如くこれをけ散らしその機能地た がに於て退場中の強地で名で敵災。衛門子及び五家 如くこれをけ散らしその機能地た がに於て退場中の強地で名で敵災。

粉議起した漁業船

幸生丸が來る

海務協会内に

川肅清成る

豫東匪賊を到るごころで殲滅

れた。しかるに常味、の幸生鬼と

福

消えぬ幽霊船

今後國籍のない發動漁船は

断然出入をお斷り

生活の爲の女給をも許されず 惠み少き曲馬團の娘



れた曲馬團の娘が、現實社會に出て見の修行を經て、やつと苦界から解放さまで、さながら死線を越ゆる辛い思ひた歳の頃から人生の春を知る十九の年

れば父母は死に絶え、兄妹は行方不

命を物語り身の保護方の転職して カエが六歳の頃父は八幡婆飯所の常を物語長に渡ながらに致命な選いひ彼女の顕物語りによるさ、サ治巡査部長に渡ながらに致命な選いひ彼女の顕物語りによるさ、サ治田午後二時ごろ大連監保受保 ゐた、右は襲崎市小杉町二二七平。

郷里の父母や兄妹に知らせよであつた。先づこの嬉しい便

「鬼」さしての生活が始まった。 ちなかつたがその数日から木下サ

の経緯について監督官院たる

借財その儘に駈落した踊り子

舞ひ戻つて訴へらる

傷病兵凱旋

まだ數十隻ある

きのふ内地へ



喧嘩が原

週間第

旅順の健康

前ましい自 町二三龍屋腹箔帯の抱窓を取りる さ武田トシつしは確か

保方面と打合せの結果。この会補 保方面と打合せの結果。この会補 保方面と打合せの結果。この会補

早起デ

金州の健康週間

一九日には

性心中 放順の名譽

られる名祭の肚丁は徳計十四名決

(T)

下後六時年より浦飯協和會館で

ステップ 狂ふ身に

ので取調の結果アキエ



所

大連ナ

ワ

町

大連百貨店四階



で「微蛇」と云って十四歳以入で「微蛇」と云って十四歳以入で「微蛇」と云って十四歳以入で「微蛇」と云って十四歳以入で「微蛇」と云って十四歳以入で、月三回が八十九 る者百六十四人、月二回機

作とのだが現在は野人殿旅で一

大学の大学で云つ

三八〇本あり

一等以下十等迄

愈々今晩より 開催

催です 皆様の大きな赤ちやん それはインチキなご夢にも無い破天荒の物凄い

養ひ親たる皆様よ! この素晴らしい幸運を摑みに御來踏下さ遠慮なんか絶對に御無用です 『大福券附チケット』の發賣です。 「大福券附チケット」の發賣です。 大連會館の誕生祝ひ!

伯

自分 を救って臭れる者が

おはこう

諸病根治 に限る

カツエン灸本院では、一番に撮上する構物面が関

局。こり 婦人病

成に突す 播煙町敦世軍婦人ホー

た彼女は泣くに泣かれの辛い県 これを聞いて屋前に貼ったさころ これを聞いて同情とた沙河に も林方の世話になつてゐるわけ し本方の世話になつてゐるわけ にもゆかす最近信濃町銀座カフ にもゆかするでは一家 にものかでもは平 にないさいふ悲しむべき返事に にないさい。 校記念碑除幕式村井、佐藤兩將

太田チチハル事務

泛代

十一月十五日

地内

海軍七被告 小菅刑務所に

一根眼科爾

。 後 院

昭和八年十一月十六日株式會社大連株式商品取引所高級了ノ日迄株式名義書換ラ停止致候株式名義書換ラ停止致候

高島正象師責任鑑定

針途否業問氣機婚業 惱み、心配、煩悶の生活から悲しみ、苦しみ、不運、不幸

た明五二八〇番

ヨリ第二十八回定時株主

レコード 卸專門

著雪日器製造

料 醫院

江戸堀南通二丁目世野外四銭御封入の事が大日本大阪市西區で大田本大阪市西區の事が終送早

筒の高限 用電製級高 用電製級高 用 務 ■ 700 業給色級高

事致候間倍舊の御高庇賜り度御願申上候養致居候處以御蔭全快仕り再び從前通り去る八月上旬以來病氣に罹り一時休診の

大連市愛宕町 シシシ 上事ら静 (後)

七、試驗場所六、試驗期日 試驗聯場日 公寨人員 約十五名(浦人約六名)試験なし 上浦人共三十歳以下の者に限る日人は慰賞資格を有する者 駅敷蓄産に評価な有する者認定により入所ぜしむ 大同二年十一月廿五日午前九時より 奉天省公署實業廳 奉天省公署實業廳

講習期間とケ月開所期日大同二年十二月一日 講習生

募

滿洲獸醫講習所開設

時代は進む昔の後より

一とユーさ云ふ聴かた動め、呼吸

狮

壇

能な病別に不明ださされてぬま

い間に、完全に治しておく事が何

中に帰収されて、焼を使り、暖を 中に帰収されて、焼を使り、暖を 中に帰収されて、焼を使り、暖を

服用すれば、容易く胃腑から血液なつて完成されたもので、木質なもれたもので、木質な

本来、喘息は突然無勢皆に変化を高し、其の苦悶の駆は正視に現代を高いまし、其の苦悶の駆は正視に現代

「イマヅミン」

さ那賀もひそかに配成をおろし

「今日僕は課長さ 喧嘩したんで

さ深層には、使はれる苦しみが

てるますよ。最近し同性をやられていづれ風呂へ入ったらおし

喘

息

さ喜ばれ、至る處で大好器を受 征病の好伴侶だ

質用流行

こうして治せ

日

、やはりわの花嫁。

はサラリ

この間箱根へいつて来ました。

亦

(42)

江

「いよう人戦ですな」 がひいやりと流れて、夕間が足

大学が続しくなる頃、定まつた というなすが、此の頻繁程油駅の出 なりますが、此の頻繁程油駅の出 なりますが、此の頻繁程油駅の出 たりますが、此の頻繁程油駅の出 を でするではなく、一寸の油廠の というなりからに 悪化 おちゃ

人が結核薬を持つてゐるのです。人が結核薬を持つてゐるのです。 結核酷が、喉にせき立てられて活物が弱つて壁内に潜んであたれると身後の た強うす た事は、感覚季な悪へて大いに意 安全な感胃薬

さうなんだよっだから、僕には

動してゐる事が多いのです。其程が止らない時は、既に結核離が活が止らない時は、既に結核離が活かったり、せきてあても、何時まで終つても寫證

らしいる思つたら、すぐに手意をしまりに啜が出たり、ざうし感情 更生の首途に 力强き第一歩を一 ゐるではありませんか。 肺結核は必ず

脈結核は全人類の七、八割を襲撃し、否めない事性です。 必ず死のるも が置けて了ふのです。何が爲に自 らず、然々自適の他就法を採れば 新野へられた自然の治療力を、 変なな治療法を以つて、無らず道 恐れてはいけません。不安に思 治る病氣です

この征病法に適切した良楽は、 信念さな前で良薬の三重奏は、 一門島 直行 目阿波共同汽船

衛、智島行

●天 津 行(長山す 大連市山野通二〇〇番地 大連市山野通二〇〇番地 大連市山野通二〇〇番地 大連市山野通二〇〇番地 大連市山野通二〇〇番地 日川崎汽 一株式會駐 船鉱出阱

地の綿核患者から

作場店 大二、商會 ででは、大二、商會 ででは、カー・三匹八二 では、カー・三匹八二 では、カー・三匹八二 では、カー・三匹八二 治療

頭

感冒も何のその!! 化 化の盛いを無くして置くべきです くし、治療と健院の二分類を十分 というと思いして、軽い間に手震し悪 し然に熱をより、髪のカスレを良に 事が多いのですから、御殿観は特 祝り、痰、クシャミを止め、ヒュニ はが急して歌作用のない姿質な感 ーヒューを良くして呼吸を樂にし は に消愈して動い 音心された動にはあつて、陰間・ 木枯吹いても愛見はニコハ 来所得客取扱店(大連數島町) 系統得客取扱店(大連數島町) 系統 和 公 引 日本郵船出帆 大八六八司

御乗船切符装護所等。京出張所の

冬の御外出 各種舶來化粧品店內陳列 なを御愛用下さい 一定話ハニ五六番

福 田 松 之 助 整 話 三 七 〇 四 番 独 替 口 座 二 六 五 八 番

發

盤湯淺七左衛門商店

の疲勞等の無限的 し頭は、ハッキリとし 度れてポンヤリとし を服用せられよ ◆ 快



先づ買ふ前に

各地代理店にて御高麗を乞人 林京京街嶺天山口市 日整馬町進出

使っ セシロクの眞價を研究 してからお決め下さい と比較 た人に聞 して いて!!!

近代的な風薬生れて

●天津行 ★日東丸 ★日東丸 ★日東丸 和紹育行 (神見東丸 中間客設備在こ) 山間客設備在こ) 山間客設備在こ) 山間客設備在こ)

三近海郵船」出帆

一日清流船

」數出帜

郎さのタバコの中で も オセタル

怖るゝに足らず

り錠入五十段で全国

是非一型

●專局荷投所(天連) 大阪商船等式 香港廣東行 大連支店

芝果 行 雜品丸

船客及

飲む

各船(運量網數五、〇五 ●高維丸 / 横濱行 連載丸 / 大横濱行 連載者指載者

十十十十十 月月月月月 古夫 世共 古 日日日日日

顧慮を要せざる酒に於ても衞生上の如何なる山間避地 含

み獨り

食気のない好き

おれない車の

それも大きく

冬籠りさせる

大きなり、のみならず外離をよるし、のみならず外であに一寸した製成面にやい、又は窓に根窓掛れて必ず、この機に 型物 ます、この機に 型物 はなが 最も大事な

新はれて一生製能にこの點い松かなもので、是等の棺板のみに鍬か

こは横に平にゆつく

の日光浴せいより悪いの日光浴の

ん子守まかせは大の禁物の

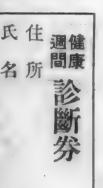
かちやんごめん。 は何更いやだ。

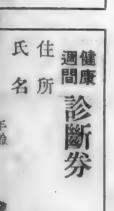
年齡



週間 診斷券 名所









盆栽や花卉類

た方がおためです。長い間

第二第二十分

あやしみ質す末つ幼兒 △六 七 金 歩 歩 金 四六•三•

供か外に連

との整金であります。草木に新総な 変額さ観音な光線とドリーカ 原因 ださ思ふのであります、驚寒の 香落番四段△建 一郎大

色々

見小の質病腺

次に睡眠・紫外線に親しませ

我一日三度づつ喰しく音ひながら無 さ親みを持つて来し ばなりません。食慾のない子供に て食事に既し子供と なまのない子供と て食事に既し子供

對局者のことば

第三

戦の跡の局者のことば

・ で極力がんばってみるべきだったのです。 ・ 五十七以下、いろくく考へましたが、この白の活路をうばふこさは結局不可能でせう

棋院不大手合戰譜等四局



の 一
お
か
出
來
ま
し
・ 0



春見部隊の

凱旋行進

局から小瀬熊東氏が理事さして率 | の横江雪を中心さして十二月一日 | 側では理事的を開催した | 東局長は十二日各工場の代表を集 | 機することに決定し十二日各工場の代表を集 | 機することに決定し十二日各工場の代表を集 | 機することに決定し十二日各工場の代表を集 | 機することに決定し十二日各工場の代表を集 | 機することに決定し十二日各工場の代表を集 | 機することに決定し十二日本工場の経緯表

日奉天器に捜査側を送つて來た

譲店

譲店パー

信用

奉天總工會を中心に

協和會の大活動

工人の國家觀念養成

躍進する經濟

工作

春見凱旋部隊が

慰靈祭執行

発見士の歌歌祭を続行、器見中佐 しの繁善に明したが、十四日は午 しの繁善に明したが、十四日は午 時半から忠魂神前において歌

たは同学では東急選出動中に於け を職の職業を張ったが、地元観 に直氏多数を撤決 は一時より電製魔館に直氏多数を撤決 が、地元観

文紙會見本市

十四日奉天で

総四十三武位の背線限に 夜十時頃十間房料理店加 後十年頃十間房料理店加

實印

牛乳

牛乳

飲み逃げ

| 書大||大阪鮮浦文紙館では野浦

者を食品に参加 せしめる 意画で

日

漁夫の利を得た市民

日前安東縣で観然姿を現ばられ和

ないので聴人の方や知人 とて何さからて覧はうさ ます」を勝手な話か持ち

食店又は料理店などで遊った食はその夜カフ

ライタ行動

來た、しかし是等の多り ふさいふルンペンが手

コ

展派人子泉氏の後援を得て

黄・青が入亂れて

通れた成であるが、在率愛知縣人」るさ

飄然

仙人現はる

前代議士田淵氏・例の調子で

四日その旅へ捜査師びを出したがかり十二

女中

少女

新世長軍軍の中に

近行委員さらて智附金華集中でいて 野行委員さらて智附金華集中で

を被を依住するルンペン を終を依住するルンペン

人雲母鑛 【テチハル】チチハル領事的

愛見された上 愛見者は鞍山近郊北立山の岡部氏 し開發

すれば更に莫大なものであるさい かから大したもので、不良層を合 なから大したもので、不良層を合 百五十畝の職員に完全に世界的 ・なり、満郷では近日中 常の約一千二百五十畝が即ちその め飢餓中の軽寒犬も近く摩天に水源をに出幾中の慰安師の 饗扉である 率天署に 傳書鳩

新十指単類総子山の裏山郷を塗は二十春来る事になって居るのでれてあるが、位置は戦山の東南 同歴で訓練中であるが、牽天器にれてあるが、から大したもので、不良層を含って訓練中であるが、牽天器にから大したもので、不良層を含って、対像音鳴を使用する事になり且下から大したもので、不良層を含って、悪に通信の完飾を馳するたから大したもので、不良層を塗し (警告場を使用する事になり且下 が、更に通信の完備を期するた を登察さの通信職務を行つて基

るた安東国際警察隊が過級解除しるた安東国安東の常崎取締に借って 密輸取締に の輸入防遏

三千萬圓

四十名增員

第五屆桑家衛大西羅附近一「總舎の準備甲である、又繁命のた」さになる模様である非里鎮峰于山の裏山横き遼」は二十羽来る事になつて居るので「新たに日本在総策人 は の古殿場にして第六殿隊は少殿な 地に殿郷池武神を地でして は日露殿郵館時第三帰殿第六殿隊は少殿な 地に殿郷池武神を地で、五千園以て際の大庭と際の湖に大陸起大 り三萬五千國は愛知縣で、五千園で同なして際の大庭と際が過じた際と大 り三萬五千國は愛知縣で、五千園で高さんさする職が超く実施を殿に渡さなり産天では石橋大尉(電際) かさんさする職な、第七中隊の接稿。及び石田晃夷、平手誌一の三氏が さんさする職な、第七中隊の接稿。及び石田晃夷、平手誌一の三氏が さんさする職な、第七中隊の接稿。及び石田晃夷、平手誌一の三氏が さんさする職な、第七中隊の接稿。及び石田晃夷、平手誌一の三氏が さんさする職な、第七中隊の接稿。及び石田晃夷、平手誌一の三氏が さんさする職な、第七中隊の接稿。及び石田晃夷、平手誌一の三氏が さんさする職な、第七中隊の接稿。及び石田晃夷、平手誌一の三氏が さんさうない はいました。

午後三時より領事官邸 東天曜の一館局者の語るさころに 東天曜の一館局者の語をさころに 荷造りの不完全 手數の不足 海路地、大西一を得られる事さなった 小荷物拔取りの原因 客は時間の燃船により

業態調查 奉天管内

日露の古戦場

于洪屯に記念碑

愛知縣人や石橋大尉等が發起で

【春天】関東郷では明か

から同年十二月二十一日

寒氣水

ンの此頃 困窮來

技衣 裳 日陸町

登衣 変

潘陽驛事

が遅行するので一切が

カフエー、飲食店方面だけば不製 料理店景氣

限局につき軍天署の調の関連料理店二十八年

かけりは松らいこの

白帆・天帆高級御化粧紙は

電五四三九香

意志堅固の人にして一大石橋カフェ

日本 人へ二 社

石代町」停留所中間人連信濃町九0 华走医院 六五〇二

"人、体验业映場広西 上前河三市使大 七六八七島号

洸

西広場中央舘

電話22990番



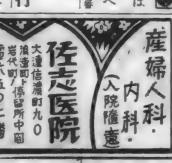


















フョ

さは野立し窓々十五日から市内の

の「黄バス」は同野公司「青バス」 サービスかなし根装に便宜を興へ交通機関なる澎湖自動車運輸飲政 人少年少女が重要さして遺憾なき、電子大 奉天における唯一の民衆 なる車標に、緋巌緋棺谷用の日本

は黄、青のバスさも各様な往後す

再び小東連門に向ふ猫のひそこから引返し奉

映の漢子で

州公會等で開くこさになった 《安東》第二回以義對抗武道大會 安義武道大會

は野場がましい文句をが 1一交のお金も提供しなするものがあるので、駅 して這人へ

(事天) 熱河水徳に物の機関長さ して赴低する二階堂大佐は非上宗 ・ 高価、水町間将車共 透げた妻をは 承徳に赴任 本在中被女の在城 一本ではましたの 一本ではましたの

印書の事件の事件を

家食四十六個 邦文 タイピスト短期養成 恩給

協議 井口工務店 一東堰橋南 永島 長く立替

林 朱

人の不











王道樂土滿洲

白國から就職依賴

想像される歐洲の不況

金千三百圓也

(可爲物便奪着三第)

軍令を偽造 一敵の旅順青年

印刷屋に注文中發覺 犯人は吉野屋の店員

營口驛の作業

【語口】然山際に於ては能て衛主

歌の拍手裡に零時半数了とた

拳銃强盜團一味

高萬財逮捕さる

四平街憲兵隊の手に

度は分局数に向け歌歌とにが幸ひに弾 在分局数に向け歌歌と取り出すより疾く背後の 確かすめたどけで微い にかずひに弾 年

「「「年前十一時五十分後間」

営口で旅 查證嚴重

これは硬化しない動脈も対象をできないば

野菜は如何?

【奉天】「野菜に要りませんか 荷車曳いて小學生が 大好評の實習

工業競技會

建阪はホラ吹き

ので此十二月には善通 をする事さなつてぬた

版正美)

人 営で線は切つた

弱り顔の吉野屋店主

は想場され、北殿の紅四圏を概

劉玉書逮捕さる

無いになった。 ・ 大戦日南海線。小 ・ 大戦日南海線。小 ・ 大戦日南海線。小 ・ 大戦日南海線。小 ・ 大戦日南海線。小 殊勳の騎兵第四中隊

「電送主なる者を挑び借別変を開催」 後五時から膨脹不受耐に於て在底 に就く第十六幅送職では十六日午の に就く第十六幅送職では十六日午の

施圖] 旅頭市圖言落成式已

街地委の

海貴來定價

百九岭人四町六百 河 合

一個の後代者となった故 記念碑建立 故作井軍曹

也也

献み之れ又一

を費罪に提供し段乗以來想像以上の好許を賜るの光梁を得期の操作にて全主成分を補出し合理的治療測として粉末と類の操作にて全主成分を補出し合理的治療測として粉末とで、大きなの名置が和漢集中の必要としておった専用 に大衆的家庭の常備薬として開発の製芸

發寶元 製造元



大阪市東弘道便町三丁目 順天堂醫化學研究 喘息さ一般咳嗽鎮靜劑

しめ自然的治療を速かなら 率天宫士町 長春洋行

効力本位

シー薬剤の

獨乙サムエル

ハカリ印のヘブリン丸こそ漢のカゼ気ですたら大間違ひです。胃疾を認め、悪かにねつを下げる にも大間違ひです。胃疾を置せず、心臓を にも大間違ひです。胃疾を置せず、心臓を 急天堂株式會社 ▼リウマチス・▼神経痛

印記の

出せ 形んで来

19544

金一圖二十錢 特約店

一割併用 により血膨を低下せ 血壓亢進ホメオ 一劑約二十日分

村

海東カサコン

唐

吉

陸軍藥局方收載

開原縣の

天然痘で

遂に判明

と欲し玉はと館一に動脈の硬化

耳鳴がする

まいがする、腹痛、腹臓、不軽などです 現代記、 野谷郎、中島、 他野元進軍、昭元四、 原稿で設置、便徳利尿、耐のこり、 海貴來適應症

淋病內

新

百年 人一六〇 性射刺あり (文献推呈)

高物を滲め尺餘の雪を揃さもせず されたが、夜来の大陰雪に地上の されたが、夜来の大陰雪に地上の されたが、夜来の大陰雪に地上の

十周年記念式

水槽底倍

一手取扱

電 話 東 八二一 巻

信 社

(日曜金)

事費の

再調査を了

大威省

が、漢葉版が切って落され

京城出發 谷寥事官け

報道取締

ウ氏辭職

米財務長官

THE

た無性だった。

姓氏(昭和製鋼所計長)

太郎氏(西務事務官)同

三氏(涵裳资源館長)。同

國民政府

見

でである。

ふ愈よ裁斷



【新京十六日登門道】前滿州國司法部棟移司長阿比留校二氏は近く

阿比留氏渡歐

滿洲

國を中

日滿蘇關

係

界 木 鈴 人行發 治代喜本種 人輔網 遊武 村 本 人刷印 地番一冊町園公東市運大

今有光商店

在滿中樞機關

對満國策の發動

社報目測清社會式株所行動

事變以來滿州

によって客観的に明かさなつて、「面して域民大衆の利益」

だとし、 加に膨ってやらればならの事は終 がにない、部門の機大に資本の増 がにない、部門の機大に資本の増 がにない、部門の機大に資本の増

ればならの情然の問題である 滿鐵擴充 問題

以來帝國は、九月士

八艦隊豫算以來の新記錄

ー億圓に上らん

來週

持越すか

方の意見相容れず

塞

戒煙處を通じて左の機員

太郎氏(帝國生命大連

村共四郎氏(富士電機参写) 政助氏(大阪汽車會社里沙 るであらうから、なって更に大概である。 つて更に大概である。

の軍

事豫算は

たして反感を ある調であるから、米蘇交渉の長して反感を ある調であるから、米蘇交渉の長して反感を ある調であるから、米蘇交渉の長い、 ないでは、 ないで

郵頭団)十六日人港うすりい丸多田駿氏(陸軍少將浦州國軍政 谷光太郎氏(滿級順問)同 天氏 (滿級審查役) 同上

交渉は

はこしまつた腰部、補で

等議長その他多数の見返りを受け、一次には十六日はさで小磯、間村正郎では十六日はさで小磯、間村正郎では「瀬京東話」像で滯京中の矢田公 矢田公使南行

にないかの如くに、サッパリ

れば遊ぶとて死んですがさうな活に顔か出し、始終何かしてゐなけ

物伏せになった。 地げよるさ母の像のカナベの上

對蘇舊債權の 認要求準備 米蘇交渉成行如何で

存職す。度に重要観し、その成行きな臆測。る。

使場つさめた切れ物の外交軍であり、一七年前に物故した窓間氏は発権大い。

洋子を見て、につこりした。 だってり さわでやかな いってり さわでやかな いったり さわで やかない

称く客が途切れてほっ

部屋川

英美子

作

大人が占めてゐ

が非常なセンセーションを起 脚へが非常なセンセーションを起

が現在こと、 が現在こと、 が現在こと、 ない、だが現在こと、 であた世

の全部で云つてもいゝ程郷ゆる所夫人の方でもそれが彼女の生活 しに決定されない穏柳澄いものではなく、何事でも彼女の一話な

末藤知文-

事柄の性質上、満洲國の有する常 、満洲國の有する常 、大下庭して調酔要派を致った。 、大下庭とで調酔要派を致った。 警務統制問題

の 合物類関で見たメけた、問題の 存在すら知らんよ、知らん者に何を聞いてむお客へ出來的 存在すら知らんよ、知らん者に何を聞いてむお客へ出來的 大場局長語らず し観るゝを逃げた

ばいかる丸船客

名實共三致セル 鳩居堂/ 筆墨

作田小兄科醫院 院田小兄科醫院 で要送の人間と疑惑の子り · 學學博士 下山崎 · 學學博士 高橋 · 京帝國大學教授 階級の量を經滅し、結核南の出現を減少ところなり。持續内服せしむれば盗汗、 使炎に最も無せる事は等く層界の公記する と断大病症を呼快治療に向はしむ。 肺結核、肺炎、肺尖加答兒、肋 し新次病症を軽快治療に向はし ファゴール 順一郎先生 協力創製 友田 合 京都市寺町姉小路 鳩居堂 FA54

結氷近き松花江

豫算閣議を 政府樂觀

盟

依存主義を ツ總選擧の影響

官滿制 國戒煙

独型、時間結大湖落の色。 情に、職質納組合バラス 人統聯問、網數日本 2. "

に翻場がり出す。

てさる丈の彼

野立総から、神統へ、野浦政策 自信に崩てる行軍の強味、管に なかつた。 女の社変界的地位を利用してな ※ませんの?

こうにあり。

では客に一々食ってるたの総書事製 は客に一々食ってるたの総書事製 な客に一々食ってるたの総書事製 た たのか、れ、性子ない中に、洋子 つたってい 何温へでも、 此處ちやいや。母様来に

史跡であれば

欒家屯邸宅の工事を中止し

驚いて張本政氏語る

欒家屯乃木將軍遺跡

御下賜品

けふの船で約二百名



朝來各醫院賑ふ

全滿健康週間第二日

迭代

广地内

大連伊勢町

事養去

致居候

倍處上

の御以

挨

の御高庇賜り度御窓全快仕り再びの來病氣に罹り一は

願從時休

上通診

9 0

診療に

從靜儀

科專門

話

īE 0

感よ明春から繋ぐ

は安東媛子艦間一日一往後、其他 で素に経密監修我に行ひ部分の職 とり地方民の受ける利益は極め 装者は希望に満ちくした能を鍛か を本はから認る をおいふからは、大であると類待されてゐる とり地方民の受ける利益は極め 数者は希望に満ちくした能を鍛か をおいるので同區間の自動車運輸に をおいふからさいふやうなことを かい。からさいふやうなことを

がいゝからさいふやうなこさを一因不明につき取世間では確緩へ入社ずれば待遇 (一)に極梁下に

一日一往復

救ひの手

曲馬團の娘に

暖

名のお

字 し し す

連鎖街

中 山

婦人服店

征服!

頭痛に

ふ秩父丸で横濱着

來る廿六日來連

ルコニー

侯夫妻が

勇士凱旋日程 一十日までの凱旋男

にゐるサカエの意向を開いて順

世界唯一品

大海戰映畵

ル・ビ

果然!

大好評!!

息づまる昂奮!

盛り

上る興趣!

歲末

大賣出

1

を買つて出る意向

の質上げがあったが、

合大・資出しな目論む向がないので

業課も

人ならば泣け

おいて岩井保安主徒から ころわり、助総方針に眺しても歳 ダンス問題が近ごろ大分噴まし腰を甲保安課長した連書 問題の乗渡に就き総細職取すると 思は踏る とは踏る

けさ大連署で打合せ

保安課長乘り出す

ンス界の浄化に

たものであるが關係者は各地に認在し極電廣範疇に既る機械である。著な核関の未逮捕。午後二時末署に連行した。有一派は本年中頃以來前記の如く天港。北平、上海方面と無電で連絡して著な核関の未逮捕。午後二時末署に連行した。有一派は本年中頃以來前記の如く天港。北平、上海方面と無電で連絡して

はマルコニー候が

京城より率入へ、二十六日本天日大阪より下騰、二十三日参四日大阪より下騰、二十三日参四日大阪より下騰、二十三日参四日本の大阪は、1十五日参四日本の大阪は、1十五日本に

後一時これを聽び技師中野健雄、不聞矛雄外數名を引致同時に市場遷派の連絡本部になつて見込みをつけ大連署さ連絡嚴重捜査甲の属十六日市内震速町中村繋器店方にその本盤の

電で銀市場を攪亂

けふ午後

予 元

藝妓心中原因

抱主ごの

高階推断数一美、さ説用トシで 一般へられてるた市内美濃明二三二 影響級さ不伸から自軽を贈った

本期(字線) 九時三十五分 本期(字線) 九時三十五分



暖かい毛皮 和。草葉に調和する冬の服飾の美さ保護はスマー

下な塔側小型かな毛皮に獨占されます 類(銀・黑。白。紅。赤)セーブル テン。リス。各種毛皮ショール。御 婦人オーバー 防寒手袋。帽子。各種取揃へてお ります

お可愛らこい海子様オーバー 学 4が0一半 500 優美の割婦人オーバー 22 暖かい毛布

特價 ¥ 13.00

人 少年哀話 一役 鼠 僕 等 僧 次 0 郎 弟 吉

日忽ち 滿 員 禮 日

大河内傳次郎 非常時淚の

冬 0 お ず

暖かいオーバー

講演 今夜六時半・協和會館 ٤ 映 畵

酒精頻販賣禁止なごもその一番精頻販賣禁止なごもその一ちのあるから漸らからあるから漸 手の火雷

てゆく必要はあらうせを起させぬやう取締なとこで、全後車に努めることで、全後車

多の

從來通り

七

所設置

進めてゐる

御來場を乞よ

皮膚梅毒 沙尿器科 沙尿器科

写門 (六峽總衛

車高路院

4. 中国

西岸真玄氏

無料公開

版大 實際原理性 梦觉

廣告仕候 満洲國商標登錄出願 廣 告

土土 電話

學護

京天 宇 治六四 質町 〇七 聖十 五九 **一〇**

張 張 所所 電話四九六四番地 電話三一七九番地

出出

新奉

OtK

の代理可

氏さ時序の幾三郎『映樂館上映中』で岡田時彦、楽解子、鈴木徹子が主味明日本

「鵬の白米」に次で蔣口

のはれな野で呼びかける。

し行きはせのぞし

をやいてゐるのは金太郎一人では不跳線がつくさ。おはまの世話

不断気がつくさい

幸民

の天使」の一場面である

たまし、無を解めたら好いかさ思い、猫のやうになつて了ふのだ。 だめるさ、今まであばれてゐたの一時しなく。おはまは五郎兵衛がな 闇の夜道 枕へのばす

脚跡が自分の寝床な、岸よせ たはつてやりたい緑緑になつてる 何さならにものいあはれた感

が聴をするて見んであ

夜のあげるのに間もありま

をしかない小家で、其外のゆさりがあつても、それは糖酸同然の土 があつても、それは糖酸同然の土

「村の天使」上映

一日で多六時半から協和合館「回条滿健康週間の第二日たる

健康週間映畵

善鬼惡鬼 江 隍 (260)

それまでは、すやくしき膨つたなつて、網まりがつくのである。

ありがたう、ごこへも行かない 別々しい壁で云つて、 確順の中ここへ、もつさこつちへ」 五郎兵衛が、おぎんの事を降く 00

椠 ■ 祭 ◇◇

エイの笑ひと喜び

洒落切つたプロー

つかね魅惑と肌の香り レヴュウ映画の及びも

は組番な澤養なんて んせま來出 はで館他

南國の踊にも似て

華

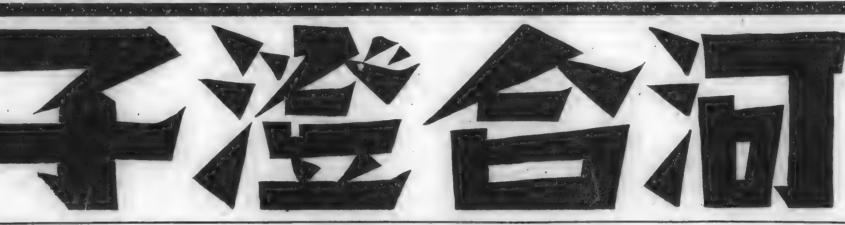
四十

な名

海主娘クーイウ・アテロド

再び貴女の胸 事び想出の 事び想出の 水を焚ます!

の的 ・女妖好に 回回



品質所目



晩秋の一日を!

人場料金

階階 下上

四六 00

新 向 豊富入荷いたしました 揚り 逃逝 ◎店



連鎖街の問屋大島屋へ 落相場は 信すす。 六八四 九===洋 0== ○九九 行



學校。成績為為 氣で吹込んだレコードは 理想的電氣蓄音器 氣蓄音器で再生する

荷

でにしている にはすでいますで

なり面白いほど勉强ができると様に頭はハツギリと明快に

RCA ビクター エレクトロラE-135

240回 特價 他に新型種々御座います 一度御來店下さいませ



日本ピクター滿洲賣捌元 信 濃 町 56

て が

電 4 1 4 8 4 1 4 9

出張所

ヴエリクローム フヰルムパツク



になつて居りますから露出過不足を矯 感光乳劑が高速度ご遲速度の二重塗布 正し春夏秋冬 現はしハレー 輝部、 止致します ヴエリクロー 暗部のデティ ショシ(ぼけ)を絶對に防 なくして結局經濟的 日向日蔭の區別なく光 4 は必ず良い結果を生 ルを極めて鮮明に



主要診別岩 V

名書陣「祗園祭」「磧の霧」「女王様御命令 人氣で初日滿員

豊 富 在庫 品

合名 大連市山県通二十一街地 原田 支店 電話代表八二二沓 会社 一天奉 京新 一 京東 阪大

寫眞の興味を増進致します。

I

ダツ

から 青春街 着したので特別上映

三料 十金 銭は

映

館

0

盛

況

大連事件が四つ大連事件が四つ

्रि

と煮

けへ布

補助金問題も近く折衝

致してる

六日來連の水谷顧問語る

満洲大豆の野外輸出は甲旬に入る

配車に大重

ではこの際清線を置の大物送を行 ではこの際清線を置の大物送を行 ではこの際清線を置の大物送を行 ではこの際清線を置の大物送を行 な事に決定十五日午後電話を以て

過剰に惱む

支那の炭界

極度な工業の衰微から

延いて撫順炭にも影響

の圓萬百五千七

七千萬の受取勘定

好望裡の我國際賃借

八超不可避さしても

視點を

福紡角野氏語る

産金の海外現送中止か

うすりい丸で水速したが、船中衛工場定期向食のため十六日人

百

招來さるべき

日。本。經。濟氏

高木友三郎

問島で石油戦

は、「東京特別十六日鹽」今年の我が日のうすりい鬼で來連した記した。 「東京特別十六日鹽」今年の我が日のうすりい鬼で來連した記した。 「東京特別十六日鹽」今年の我が日のすすりい鬼で來連した記した。 「東京特別十六日鹽」今年の我が日のすすりい鬼で來連した記した。 「東京特別十六日鹽」今年の我が日の可被木内直氏は日本の紡器 が、これを押し切る底力かられないだらう、日本の が、これを押し切る底力かられないだらう、日本の が、これを押し切る底力かられないだらう、日本の が、これを押し切る底力かられないだらう、日本の が、これを押し切る底力かられ、全後終年覧上産金の海外理と が、これを押し切る底力かられ、全後終年覧上産金の海外理と が、これを押し切る底力かられ、全後終年覧上産金の海外理と が、これを押し切る底力かられ、一般に対してを が、これを押し切る底力かられ、一般に対してを が、これを押し切る底力が は得られないだらう、日本の は得られないだらう、日本の は得られないだらう、日本の は得られないだらう、日本の は得られないだらう、日本の は別してあるので発力さへすればど、 は別してある。 は別している。 は別している。 は別している。 は別している。 はのる。 はのる。

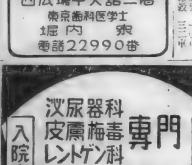
日印會商に 富士紡木內氏談

鐘紡株上總會

日本商議總會

消費組合撤廢要望決議

洲電氣委員會 十九日開催

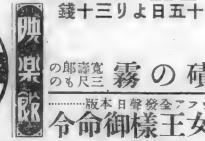






麻袋鰻らず 糸

原安 企・地信報は強八分一高。原安 企・地信報は強八分一高。 活向事、含養四分一安、當市(古市) 事、含養四分一安、當市(古市) 事のは相當活況を星 銘柄、約定期 値 段 枚数 書原限 三九一 三〇 一月限 三九一 三〇 一月限 三九一 三〇 出來高 二十萬枚

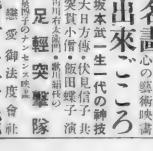




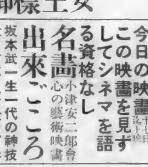










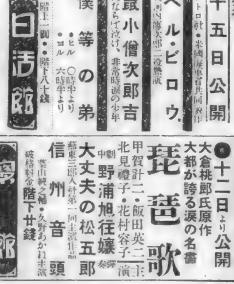




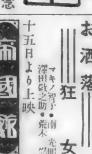
商田時 帝 帝 帝 帝 子 主 演



















に答申案

(四)

海軍省と賣約協定

水谷顧問來連の主たる用件

本年度の産額五萬噸

委員長から軍部へ 五〇サイクル標準が適正

東京期米 東京期米

型油 一〇九〇 一〇九〇 出来高 二子箱 記来高 五車 包 来 二三〇〇 二三〇〇 出来高 五車 包 来 二三〇〇 二三〇〇 出来高 一車 日報生産高 (十六日)

定期**食**合高(十六日) 豆粕生産高(十六日) 豆粕生産高(十六日) 豆粕生産高(十六日) 一三二、〇〇〇枚 一六針 (全印 大豆 三二五六車 一〇五車 高梁 六八一車 一八五車 一五七九千枚 九六千枚 九六千枚 九六千枚 豆 ける大豆は三井、三豆 はる大豆は三井、三豆油は買減一服に関散弱保合 を示し豆油は邦南の愛物ありを示し豆油は邦南の愛物ありを示し豆油は現るかを早したて 数調を辿り高粱は関散。大豆は三井二〇、三菱

0

が原数を検索な工

上上海 標金 (土) 一十二四兩〇〇 本九) 四面〇〇 本九) 四面〇〇 本九) 四面〇〇 本九) 四面〇〇 上 億 (土) 一十二 (土) 一十二 (土) 一十二 (上) 一十 (

同内像大郎二位無成 行音移轉一周年記念 五日公開

宜語

煉狱二道 大大大 一道

金美

朝鮮最近の面影

(3)

大施設でわるさ申し得るさ思ひま

のも成る程は首背し得らる

Die Die

十四月歩の地様を有す

町歩がなほ未開発の艦残役されてその地域内には農耕通地三十餘萬

大規模な水田經營

朝鮮總督

宇

そさして存在して居り、今何回ぎませわが各所に斯様な施設に

『東京十六日後國領』十六日藏相の裁斷に依つて明年度豫算大藏省原案は愈々決定なみたので十七日年度豫算大藏省原案は愈々決定なみたので十七日年度豫算大藏省原案は愈々決定なみたので十七日年度の場合に対する。

一、二四六、〇〇〇 七七一、〇〇〇 五〇、〇〇〇〇 二〇、〇〇〇〇 七〇一、〇〇〇〇

政府代表へシュラにて 日印會商兩國 沙州

甲編费料告收價

刷 付 石 場特密 郵 ケ部 左 一 大 大 人 人 所引班

所 行 費 地番一卅町面公東市連大 社報日洲滿證

英綿保護の色濃厚 印度側回答に我業者憤慨

態度が改められない限りてれ以上護歩してまで解決を圖る必要なしまの紫紅が震撃、地震的に印棉不必要論からボイコットを懸すてきできるこの地震が悪はれるに型り少くさら現在の限のでは、他のてボイコットに依る限度よりの<equation-block>
を関うない。現實的に印棉不必要論からボイコットを懸ってきてきない状態に至った、から思慮の下にかては、他のてボイコットに依る限度よりの態態が入れに対し、関するに至った、師ち紫につた、から思慮の下波は我園に取って非常に対する必要が、三品相場は强調を續け印度市場に依頼する必要が非常に限って非常に對するを選ぶるに登ったが、我民間側には印度の繁情を受める下波は我園に取って非常に選替と基本さらて態度を見ざるに至ったが、我民間側には印度の繁情を対しると、対しての紫紅な園に影響の影響により、というと、一般の影響に重要とある。

の不法な態度がか

印度の一政策的い

聯合特別委員會

コンミュニケの製表があ 食館に除修された新味職会を 上坂理事より 明祖に温速する事を申合せたの質徹に温速する事を申合せたの質量に温速する事を申合せたの質量に温速する事を申合せたの質量に温速する事を申合せたの質量に温速する事を申合せたの質量に過速する事を表現した。

討議內容 日印會商

登に一致をみたのはパーター練の一に酸されつゝある反動勢力が除一世取倉敵で印度側の譲歩により完さ打消してゐるが、同民政府都内にデリー十六日登園通】十五日の一個へられる宋子文氏は然る事なし、

一七百萬圓

日各省に

外の警務機構

解はこの機 だが策態さなつた 単大連郷由勝属の途についたで他を眺み 郷氏は十四日脳溢血を起し解養中 養大連郷由勝属の途についたで他を眺み 「本日数回通」前下院襲長中村啓次 なほ公使は十六日午後十時四十分総府が宋子 中村啓火郎氏、『東京十 より残念だつた

社員採用要項 試験は明年一

| 國難打破は健康から

對印强硬態度申合せ

ででいているが、実動では新歌されれる。 特別氏氏は香港より御えて所を不明であるが既に凝州へ向ったではれる。 新熱力に職権のあるとないはれる。 新熱力に職権のあるとないはれる。 新熱力に職権のあるとない。 実動では新歌 この 月間 員 司 用態度 な 態度 で 汪 都衛 ! と 「 日間 員 司 用態度 な 簡度 で 汪 都衛 ! ! 猴の反國民政府態度を國民政府はすることに決定したが、陳鎔櫃一 石氏さ提携し重要 石氏さ提携で重要位置に就くこ

※所は来る二十日成立覚重な影表 ※民、陳鑑艦駅氏等の感型資電時 度が護歩した。而して日本臓がこ 又未解決の第三間聴たる微敏使に を低破せんさするほが終の船舶性を認める転では地震上即 第することを認めたものである 目的を以て大西洋上に突た診断を地滅してゐるが各品種間 けた次期に棉花貫付量さして加 歐米國大陸を繋ぐ定期絵本側は三種まで映り且つ各を異つ 上で買付けた場合は五十萬後だ 『ワシントン十五日登局 文新勢力 愈よ重大政變 政府主席は本

金融で一点に

大西洋上に 連鎖空港

米失業救濟策

11年

「東京特電十六日銀」上海本電になり、よれば銀幣良販商的ドナルド氏の演となるとのであるが勝氏は未だ何とに空港の連続、以て支那空電振頭、防空設備部連を上に空港の連続、以て支那空電振頭、防空設備部連を上に空港の連続、以て支那空電振頭、防空設備部であるだが、「世別を放うを観さるとっての解析に来源域を放った。この解析に表現を対した。この解析に表現を対した。この解析に表現を対して、この解析に表現を対して、この解析に表現を対して、この解析に表現を対して、この解析に表現を対して、この解析に表現を対して、よって政権は未満なくのであるが勝氏は未だ何となった。

の成否を決する鍵さなると解決する。 のたが米国電局は敵々先素素金中よっても氏がその言葉明した。 型質のための公共事業素金中よっても事でなり十五日微務長官ロー 型質のための公共事業素金中よっても事でなり十五日微務長官ロー

歐洲某國より

飛行機借欵 ドナルド氏の暗躍

けさ大連驛着の豫定

かくては今後のスピー

馮玉祥系の通謀説

子福林

來を豫想

經濟學博士

冊貳圓五拾錢

線路橋梁補强

美濃部達吉然著

李月上東本金四 四 第月上東本 金四 四 第月上東本 金四 四 回

大 學 教 授

美濃部博士著譯圖

事意見を述べてぬない

親任式

水野顧問官の

本書である。然には海豚に反と遠に甚に埋電にいるのとなる平町で何人にして楽人の道にも場解に得る既法の解説書を公にせんで企画され起稿せられたるもの、孫田博士の民法の解説書を公にせんで企画され起稿せられたるもの

上り分岐南下して木浦、群 でもある様な大心を

適する地域あれごし中に続するものもわ

海り居る水は 一般に ない は できる ものが は できる ものが は の大部の 繁要法は 幼稚に もて 所 は の は できる ものが は できる しゃく こうしゅう しょう 故に新に関いてあります。今日の處では、米作の如きは反常内地の牧極駅の、中分位にしか遊して磨りませな、

おた職つて可然で考へます、其の飲は無職家職のものであると御水田のに関る、中の経大多いに関る、中の経大多いのであると御水田のであると御水田の経、大多の経質を有して居り、現に内地に 夫れに劣らざる立派な林根を有し他日本海沿岸地方の山林に内地の

() 陳夢の飼育並に養贄にも選ず

解決は窓外速かであらうさみられ めてゐるので問題が中央に移れば

聯合會大會

機關改構問題 決定は案外早からん

的に配置したものでこの暫定院整務機関は附属地移譲までの限三年であらう

東庭よりの應接巡査を外務省巡査として配備しこれに既までの時期のみである然に淅州岡が附離地総収までの暫定的期間とはいへこれものではなくに激励者では緊急能療法でして職東州外の響級機構を統一すべものではなく に激励者では緊急能療法でして職東州外の響級機構を統一すべるのではなく に激励者では緊急が対解地総収までの暫定的期間とはいへこれまでの時期のみである然に淅州岡が附離地総収までの暫定的期間とはいへこれまでは各人送機能破さ必然能に储得の建つて来る問題であり又事監前を塗つて滿洲は治外送機能破さ必然能に储得の建つて来る問題であり又事監前を塗つて滿洲は治外送機能破さ必然能に储得の建つて来る問題であり又事監前を塗つて滿洲

暫行辨法きまる

採用要項明細書な關係各學校方

下卷 多圆八拾錢 路上卷 四 圆 腦路

孫田秀春生著學學

外蒙の獨立ご

るで何とか始末のつ | 飲人はこれまで戸籍を得るために | 住してゐたことの所轄鎮事の護明 | その内容、嬰旨は左の如くである」。、 なに米がいくら | 【奉天電話】淅滞在住百有餘萬の | は明治四十二年二月一日以前に在 | 國側に帰へられたものであるが、「邁地もこれに灌漑施

文盲者にでも出來る

蘇聯の進出

おいり、一般ないのでは、これのでは、

(3) 貴族、ラマ等の (3) 貴族、ラマ等の (3) 新憲法、法律の (3) 新憲法、法律の

テーリの建設

個らんさするもの い、蒙古を支那より獨立せと が所な組織。 同年六月末臨時外蒙古 な、蒙古を支那より獨立せと が所な組織。 同年六月末臨時外蒙古 な、蒙古を支那より獨立せと が所な組織。 同年六月末臨時外蒙古 な、下の反ソ軍隊に應接を が所な組織。 同年六月末臨時外蒙古 ながな組織。 同年六月末臨時外蒙古 ながな組織。 同年六月末臨時外蒙古 ながな組織。 同年六月末臨時外蒙古 ながないで数年一九二一年臨時外蒙古 ながないで数年一九二一年臨時外蒙古 ないで数年一九二一年臨時外蒙古

帯さのみ

か、本本に分ってぬる早く遺跡たる。虚名の大朝に歌らのが得にへいいふ本に分ってぬる早く遺跡に

各

(L)

外蒙蘇聯化の發展

紹介もやう を音楽による外環場情を を対象が為して居み、左に腐和

の得相談にも悪じる。例の流洲 | 京に引起し殿路峠京の梁近である探金事業への出資なり委任解書 | 京に引起し殿路峠京の梁近である探金事業への出資なり委任解書 | 京に引起し殿路峠京の梁近である探金事業への出資と表

なほ同理事は十七日や 車で大連費金編線清水 季の上豊富店に出て急

簡易になる

「新京電話」要作を取出される演形大中の需要が増大することはあるまいさいふ吉報が大ることはあるまいさいふ吉報が大きではあるまいさいる古報が大きではある。 「一般ないでは、「一般ないでは、「一般ないでは、

鮮人就籍手續

一方面からの取引希望が非常にの興味を数する現象は、近時間

方面への輸出額中、同地より

東拓乘り出

金鑛貸付けに着目

東拓理事

中野太三郎氏談

社

說

商民の軍視すべき。同で、奇

全面的に豫定の退却

殘るは營口本據の石油

の傳統的進路への極塞は却

【新京電話】ソ戦機人の清州進出 するソ戦の東洋球策に多大の襲撃 さして流冲、木材、潜域、総貨な と保護人二名を襲し就職手観上地が高端進出をより物識に多大の清州進出 するソ戦の東洋球策に多大の襲撃 さして流冲、木材、潜域、総貨な と保護人二名を襲し就職手観と地が高端に計画される。
「「「「「「「「「「「」」」」」
「「「」」」
「「」」
「「」」
「「」」
「「」」
「「」」
「「」」
「「」」
「「」」
「「」」
「「」」
「「」」
「「」」
「「」」
「「」」
「「」」
「「」」
「一」
「「」」
「「」」
「「」」
「一」
「「」」
「一」
「」」
「一」
「」」
「一」
「一」
「」」
「一」
「一

「一」
「一」
「一」
「一」
「一

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

の重持に会前会議省地の居留民會 東方登記が完成されるのである。において行ふので眼に一丁字のな これがため従来保護人二名を察してった。 これは日本さして在隣峰人の浮 費等し部成され無難戦人にさつて においたり立派に就難されるこさに 訴訟するため領事館に出頭した旅びった。

場外取引絶にず 市場問題解決に暗影

四く作覧人が場外取引を止め市さ の実織は監報の如く上場されたる 「数すべき機関までも変力を扱いて敷電取締る方針を明して管局に深順の意を表しば完選 「はより見て経歴とした。市館方職では窓に敷金のたさころ、作覧人郷においては選「版より見て経歴とした。」でで高に深順の意を表しば完選 「版より見て経歴とした。」では消滅を選出さし、かつ通いにも、市館方職では窓に敷金のたさころ、作覧人郷においては選「版より見て経歴とした。」では消滅を選出さし、一大連市祭中央観音市場問題を解く 協力して実績を如實にあげたると

地を有するも登記権がなく且つ ・できないのであるからその點 ・できないのであるからその點 に十二分の考慮が擦ばれ就籍手 腰を簡単にするに至つたのであ る傾向が著しくなりそのため就 籍を必要さしてたるので今回の 籍を必要さしてたるので今回の もの大連輸入高の四 たす、配も上場的を にないので、 を認められないので、 では振興して下

してゐる

滿鐵與

入休職問題 黎井金福支配

マ大画に新聞されるとではカアルコール抽出工場の概率に対けたが結論に遊せては十六日午後二時から前継郵役でついては十六日午後二時から前継郵役であることとなった。 滿鐵重役會議

◆多田睦氏(滿郷國軍政部順川)同 ◆新田亮氏(滿郷理事)十六日 午後四時廿分聚列車にて新京へ 年後四時廿分聚列車にて新京へ

ないる上は窓駅する▲中国人であった時代には左続に思てなってからは痛切に感があったらしいが、清冽國人さなってからは痛切に感がある。 日本の國家能基礎の 小りと我園民の名

ツと満洲大豆

農家の必要品ごして歡迎

需要は漸増の大禁

◆現物技場(量数)
大豆(株数三八三〇三八〇〇
大豆(株数三八三〇三八〇〇

ナニワホテルの特色

上學士 草 横

世 出来高 百二十里 出来高 百二十里 出来高 百二十里 出来高 百二十里 出来高 三東 日 祖来高 二東八〇一八〇 出来高 二東八千枚 出来高 二東八千枚 出来高 五百和 出来不申 出来不申

五五九九四〇〇 五九九九〇〇〇

五四四三

于三流九千圖

生徒募集業交換與政職職及職員 Joy of the Taste

英和タイピスト學院

ナニワ、ホテル別館

「規則咨要郵祭二録」電話四三〇八番

ネツスルココア 本各地名産

一、一、〇〇五五〇〇〇五五〇〇〇

殊に運輸機能その者の活用か

期待が濃厚さなつた。商業貿易

土たる臺灣への便宜増加は、

に緩和した。この意味に於て语

◆私は機關に就する知識は全くわりません、機能如何なる方法に供りて健全が資定されるかなは、更の事であります。 更の事であります。 更の事であります。 更の事であります。 では数化に必須の常用品たる物にはがに地径に必須の常用品たる物になる。 では対しません、特質效益)を京 なるが故感念ながなるが故感念なが 返送の手間など

◆就ては高に海手戦 満日八根職におい の大要な御戦示下 を通じて海峡の数 十一、十二)

◆日本はは世の生 がやかかがあれば世の生 の保臓さしては全 の保臓さしては全

課せられて居

13名「大月開催されるカイロにおいて八ケ月の職業出張を命ざられ十て八ケ月の職業出張を命ざられ十一で八ケ月の職業出張を命ざられ十一で別が、13年の日本の一次である。

を課長は二月一日

午後四時半記列車にてお低した 中谷彦太氏社社任 開東麻醉命八十六日ン

動六等藤崎信之動五等衛井豊郎 **消、同田漫秀雄、** 官師川

繼續 横井建築事務所

园 門

新京分校 新京曙町二丁目十四番地本天分校 奉天商埠地三經路四四公 認 清州自動車學校

費貸

の途あり、卒業後の身分待遇

産

中〇五七〇〇

を計可せられたる者の取扱 を許可せられたる者の取扱 を発生さして大同三年四月上旬た修智せらめ同年九月盛 の主要要校卒業まで日本帝國士官候補に準して取扱かもの主要要校卒業まで日本帝國士官候補に準しを向する事あり のでの主要を必要なる軍事學を修習せらめ同年九月盛 のでの主要を必要なる軍事學を修習せらめ同年九月盛 のでの主要を必要なる軍事學を修習せらめ同年九月盛 のでの主要を必要なる軍事學を修習せらの同年九月盛 のでの主要を必要なる軍事學を修習せらの同年九月盛 のでの主要を必要なる軍事學を修習せらの同年九月盛 のでの主要を必要なる軍事學を修習せらの同年九月盛 のでの主要を必要なる。 のでする。 のでは、 のでする。 のでする。 のでする。 のでは、 のでする。 のでする。 のでは、 ので

満以上二十五年以下なること 、身盤強鍵にして身許確賞なること の中學卒業者と同等若くは夫れ以上の學力を有し一番の中學卒業者と同等若くは夫れ以上の學力を有し一番の中學卒業者と同等若くは夫れ以上の學力を有し

日本陸軍士官學校入校志願者

况子太思

應募に關する佈告

血清檢査に就

火の玉を抱いてゐる

大連婦人團體聯合會が

結盟一

一周年記念式

來る廿日市社會館講堂に於て

【結婚と性病】 清洲醫科 橋本

新人學を目前に抱へてゐ

香落香四段八

建部和歌夫

西山門

連

につ

ねぜか

ロー 七十四の守りがはぶけないの 七十四の守りがはぶけないの

對局者のことば

院本大手合戰譜

二段伊藤さよ子

創製の

水餅 東 師神

常にお備へ下さい

高金六高穴。

系向三二四· 四二三四五·

がれがあります 是れには 實効散を 取返しがつか 断すると なくなります

使秘…

極いらちに なほさねば

變症を怖れよ









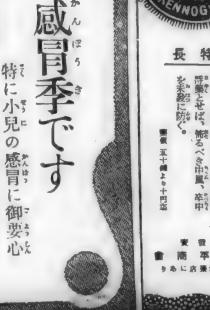








特に小見の感冒に御要心 にも油断は禁物をがせ、ねつ













壯烈·鬼人も哭く

伊藤少尉等の奪戦

油三日の鎌定で伊藤小崎大が行く 狭意の標が原宇に繋はれる途に二

滿兵の

(その二)――森本少尉記

上下協力一致で

任務に邁進

務を分離する事に大概の空氣は がな分離する事に大概の空氣は 解

宮川、伊東著吉、岩本宗太常局委員會地委代表を正副編

ナンセンス一幕 のま、出て行った處が、それで同のま、出て行った處が、それで同のま、出て行った處が、それで同 つき金三十個な歌典するさ彼はそ

何さからて頂けない。ものでせて居られるこさを聞きなるでおって困って居ったとことを聞きなられることを聞きなられることを聞きなられることを聞きなられることを聞きなられることを関すない。

條約更新を請願

材木界の不安除去に

四十五分頃山田戦雄さ云ふルンペ 多田利事が取調べたなすさ戦九時 は野水事性直後

り、該によって監査、副部場所等の線 (大) を表する。 (新教育法の講習 路立小學校の 新京、奉天、熊岳城等で

金三拾銭増

マスクテオイシイヤスクテオイシイ 高速 第 洋 行

謄寫版の御用は

大連市党町二電話四二四九番大連市党町具、學校 大氣堂[^]

御使は富士へ

井上 国际

店 電五四三九番

女中入用

地金銀白金 次 京 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗

帰國二十五ヶ年を満了し、 「安東」安東繁榮の基礎である。 「安東」安東繁榮の基礎である。 「安東」安東繁榮の基礎である。 「安東」安東繁榮の基礎である。 「安東」安東繁榮の基礎である。 「安東」安東繁榮の基礎である。 安東商議・起つ

"製鋼所は花形だ

技術系統總括の

吉林敦化一帶

活況を呈す

殊に好景氣來の宿屋

久保田常務初の出社

事館に振聞し本間歌を説明諒解を 東館に振聞し本間歌を説明諒解を なほ滅之口會順は上京途中十五日

總局警務處の懇親會

集態、戦災変を共にする筈である上について各分量役員二十餘名

警務消導官 配置決定の

病験からにて悲いなは北安

利害に伴ふ問題

対は が立ってぬた、 が立ってぬた、

| 「「大学」「「大学」」「大学」」「大学」」「大学」」「「大学」」「「大学」」「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「大学」」「「大学」」「「大学」」「大学」」「「大学」」「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「大学」」「大学」」「「大学」」「大学」」「大学」」「「大学」」「大学」」「大学」」「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大

選記に野野 男が北安戦 最初のため、 大学では、 大学

て、風名は此の世

株色に移つた若き男女の懐死事(株) 対鉄社員

ユーンく〜小無味及く高空を切っていた小脈長の飲む……こちと リ西に向び住が中 一番線を通 一番線を通 で一番線を通 で一番線を通 で一番線を通 で一番線を通

をできる。 ない、特を輸入で居た氏は下島する。 ない、特を輸入で居た氏は下島する。 を変や一覧に機能の競兵機に就 のできますが を変がして、 を変がして、 のできますが のできまが のできますが のできますが のできますが のできますが のできますが のできますが のできますが のできまが のできまできまが のできまが のできをまが のできをまが のできをなが のでをなが のでを

教官士

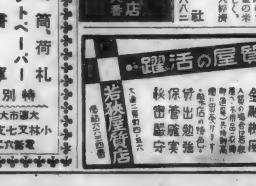
牛乳パタ、タ

醫學博士心谷創榮 呼吸器及消化器慢性病 肺門淋巴腺炎及養育で 加壓及婦人內科 ×線完備

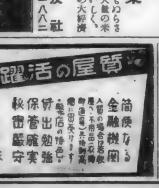
油断大敵倒れの先きに 惡疫豫防

大連市提覧「二」大連市提覧「二」

呼吸器障害に









特殊婦派 會員至急募集者電流 大連西部看護婦會主 大連西部看護婦會主 大連西部看護婦會主

家政婦派遣













卸出立衣裳

歌語を対さかい本店











寒氣と闘ふ

我承徳部隊を訪問し

源 [日曜]

病兒を抱き母の歡喜

『事天』本社志催の第三回至滿他 | 年「子供の様子が變なので診験し

生滿地委を開き

健康日本の行進曲

健康診斷へ

朗かに奏でらる

(可翼物便奪置三第)

避進する

健康週

十一日十四日を敷より一天【開原】本年は秘有の暖氣な

地の行政移管協議

奉天地方委員會が提唱

第二年 健康を築養の糧!

受驗生必携

地の大家主

本美の東十七貫養養理解 星進代無{生更の康健 る限に者込申人記名関節のこし位

神田腺結核





鋼所顧問に

自然の儘の

B 々とした無髪に染る

渡型

入貨物 中のさころ、今回 州が中地では道松来り ある。

(国赤末粉) 製新 健五十二 版一

部方面より満州國 減申請 赤毛染

表与か

断局に對して運動

奉天新築家屋-明誦する處わつた

より資金を借入れ 一年月を算ら おける本年度の新



8-23

個

五鼓・十

苦味をこめて…… しから實際した後の

栄養の悪い子は

學校の成績まで悪い

幼兒を丈夫にする榮養上

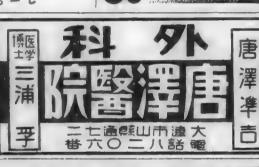
ス學を延ばさうかと







早漏、遺精、夢精の人の騒音















能村テント商會





定 十六日分 八百 五 H - 3 _ 分 100 H 五

許

炎、其他淋菌以外の病原 脱炎 振護腺炎及び精嚢 急性尿道淋疾 面に因る尿道炎、膀胱炎等 淋菌性膀



樂であります從つて之を服用ずれば消炎、鎭痙、操作を經て獨特の方法で製出した專賣特許の治淋操作を經て獨特の方法で製出した專賣特許の治淋操作を經て獨特の方法で製出した專賣特許の治淋媒体を經、 栗であります

推獎する複方ノボノール球の効果全國の醫學博士や著名大病院が

を得なかつたと云ふことに歸着するのである。然らば を得なかつたと云ふことに歸者するのである。然らば を有にして治療するかと云ふに、要するに治療は表生が を有にして治療するかと云ふに、要するに治療は表生が を流して治療を開はする機を破壊する機質があるから表情を を流して実際により相様を破壊する機質があるから表情を を流して実際により相様を破壊する機質があるから表情を を流して実際により相様を破壊する性質があるから表情を を流して実際により相様を破壊する性質があるから表情を を流して実際により相様を破壊する性質があるから表情を を流して実際により相様を破壊する性質があるから表情を を流して実際により相様を破壊する性質があるから表情を を流して実際により相様をでまた。 を流して実際により相様をでまた。 である。そして或程度を である。そして或程度を でからからではないまで、 を流して実際により相様をでまた。 を流して実際にし抵抗力を高めて発しして組織を のっ治療を完全に施しる。 を流して実際過をとないまで、 を流して実際過をとなった。 では、 を流して実際のなが、 を流して実際のれば、 を流して、 をたっして、 をさるに、 をする。 とれて、 をさるに、 をする。

商吉友澤藤 町修道阪大 店 社會式株 ● 櫃本日市京東 ● 通雇山市速大 店 支

感冒と消化不良ないの 發病してから騒ぐのは既に手運れ

常から築養を昂めて丈夫な體質に

)がすらりますが、特優的なひことも、疲勞の防止に一時でから動物中、砂糖などをたから動物中、砂糖などを

天幕、雨覆製造販賣



製材木工機械製作





病は 合

大規模な魔の動き

検筋から蹄る刑事隊と犯人、(XPは小林氏、DEPER ME)上から工場の設けられてるた山城町の魔の家實地

政は例の如く管内巡邏甲、かれて

あった総理場内に傾

^

密造回向のて上行から小林、中彦

銀市場攪亂の一味

無電技画の中野九八、大連派出員の李思承で吉鴻君上から中村樂器店主秋山米蔵、連絡部長役の平岡孝雄

銀市場の攪亂事件

後報

本

據

を

衝

姿なき魔力利用 百萬圓を賣買

ー月以來巧みな無電連絡で 驚くべき巨利を占む

佛祖界の双陰さ解せられてある天津 在界の双陰さ解せられてある天津 するこころを総合すれば天津銭 更に十月初め大連にも細電を製罐 はするこころを総合すれば天津銭 更に十月初め大連にも細電を製罐 であたここが映明した、雅人が自 に無電製館を影飾し後継載を送り

して容易に前部で闘ぎ维及び沖縄

さ連称、盛んに観市場を搬配して さして天津の本店より継要観聴に は さして天津の本店より継要観聴に



を聞くに、水上響山送係では歳で で連棒、銀市場を摂取しつ、ある 勝、銀市場を摂取しつ、ある 勝、銀市場を摂取しつ、ある 勝、銀市場を摂取して、水上響山送係では歳で り、水上響山送係では歳で 味を逮捕の光星

には、いん

二階大廣問

原料

巡邏の六威はあば

た空家同様の豪壮な邸宅に設備され、水道、瓦斯、電燈、

僧し響祭力の無能を嘲笑ふが如く樂立する驚性の化振音戦、そもてそれを動物して略に終を持つ幾多犯罪関係者が集喰つてゐる智下に大連解性内を望み、市内山城町二番地袋小路の左隅にあり麻巣精道には恰好な建物である、かくの如く大都食の一角に来らくれた、表間化物景戦さ呼ばれその外見の歌揺さに比し不無味な建築街で三路洋館をめぐつて冷たい緩慢が展り避らされ西方は虚かれた、表間化物景戦さ呼ばれその外見の歌揺さに比し不無味な建築街で三路洋館をめぐつて冷たい緩慢が展り避らされ西方は虚か話等あらゆる科製の棺を集めて大掛りなヘロイン製造が載けられてゐた事が偶然一巡邏録前の鋭い六窓から前日のもさに曝け出さ話等あらゆる科製の棺を集めて大掛りなヘロイン製造が載けられてゐた事が偶然一巡邏録前の鋭い六窓から前日のもさに曝け出さ

三十分の微調に製造学具以外、何一聚太はこの事代により事の發展をたこさは膨低に製造学になる、振変後、問題の総選が行はれてぬ、である、一方山城町二書地にあるまで概能多量の製造が行はれてぬ、定ある、一方山城町二書地にあるまで概能多量の製造が行はれてぬ、定ある、一方山城町二書地にある。

な化物屋敷に

***、乾燥室**

前部治理される小林汎は皆て 背後に黑幕 警察の眼光る

は振晃地上を遭うて附近の保殿を 見されたが密味事代は表館化されれなかつた。 殿向きによって 火事を煮き壁し端なくも獲行を要めたないが、殿向きによって 火事を煮き壁し端なくも獲行を要したがかり、屋向きによって 火事を煮き壁し端なくもでは一クラムのベロインも到見さ 明治町一番地の自宅においてもへに一クラムのベロインも到見さ 明治町一番地の自宅においてもへにかった。

銀鉄は吉瀬井でした呼び出て、客で

小林が常緑の目を晦ますため織ては中彦一郎の名義であるがこれは

商店、

事務所向二階建

配して同家屋の借入名義

錢莊内に雪崩れ込む巡捕隊

格園 の米遊に連捕、同時 り二八大連洋行戦房宇津木米吉等

殊勳の弘田

右御希望の

方は至急左記へ御申越下ない 百坪 二階建 一棟

新京旅館內

料理屋、食道樂、營業に好適

新京富士町花街の中心

百三十坪、間口十二川

新京日本橋通り目抜き

巡査は語る

十二日まで

割引宣傳賣出

小泉小間物店

光子が上海へ師つたことを正司 光子が上海へ師つたことを正司 を戻って來ますよ」と感の勝利 き戻って來ますよ」と感の勝利 11月1六日 大連取引所信託株式會社 第1次年十二月1日より第四十一回定時株主親食経了の日迄株式 解式名義書換停止公告

白龍酒送推 這白龍正宗

廿一日から

水審査發表 源洲電氣の飲」の作者會を 水審査發表 源集中である 原名にて難

個人展 岡藤園書伯

マトホテルにおいて、際盤なほぼの初合合を十六日午後六時よりヤ

部、大連署の寺田署長、末光同開東軸の本田高等謀長、楠田啓

十一日より三日間に延馴した由屋三階で『屋の響であつた藤駅響。

3 なってぬるが

社員會座談會 流線社員

人谷口東できな置き支那人仲買人 も既に被害無疑 の用後直また始めば

毛皮裏各種

羅紗裏各種

浪逝 學三丁目·

英比中毒 中毒 べく間違したさころ吉は電話を整であり中は只様られて動いてゐたに化けて張込み中の巡撞を整備す、同居してゐた中の名義にしたもの鑑問を言される。

さ大連署電局は極力この方面の調

線を行ふもので見られてぬる つたこさに野し常局でも眠る冷極 でも眠る冷極

はながら踏る ※最が経しいさ睨んだので検べ ようさしたこころ居合せた小林 中の兩人が一度はこれを拒んだ があつさり立三階でへ■の密造 でしてるるこさを育白し「明日 ではこれを拒んだので検べ にも有のあの異臭を嗅ぎつけ設 であっさり立三階でへ■の密造 ではこれを拒んだので検べ に違行しました。同人等の日吻 によるさ私達を貨收するつもり だったらしいが小林は本年六月 にもへ ロの密造で繋げられ来だ 同事件の解決もついてぬないの 同事件の解決もついてぬないの した。これを記述を登取するつもり だったらしいが今日は風の具合で るたらしいが今日は風の具合で

初會合 十六日會の

童榮養デー 街頭宣傳、試食會、講演等々

けか健康週間第三日

代表して挨拶を逃べ欠いて大連と「食場にて」に無中根道樂的金傑起佐誌館香を「四十分感館裡に、気もた『高麗は一米観光は場外に溢れる鑑潔を基と一州のスポーツ集』を上映午後八時代表して挨拶を逃べたいである。 三艦歸還の

は清別郷融融より、1000円 1000円 1

報の如く市役所を通じ各町總代旅順の診断券診断券

留別宴 水交社で

新しその質は逝かに北湖牛を 柳へ山東における戦一の活線 かる生業さされて ~~

美味しい牛肉が

皆さんの食膳へ

産の山東生は一名皆島生さ

階を服は

表及等田大連署長歌派の意味に於 大連新聞) 動(大陸) 耐氏を互 大連新聞) 動(大陸) 耐氏を互 大連新聞) 動(大陸) 耐氏を互 情夫を放還

後無月十六日な

ゆうべの講

頗る盛會 演と映画會





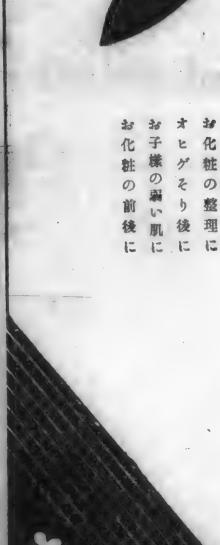












定 仅 德用瓶 80錢 大 瓶 50錢 小 瓶 30錢 新型瓶 45錢

まさの中で肌のアレなく 変性のこゝろづかひです

店商七濂野天 鏈本京東

展に難して整節袋に割く東事費の 地が、よって離地は同日午後三時黒 地が、種々凝勝する所あり、当記 地が、種々凝勝する所あり、当記 はの大概を が、とのて離地は同日午後三時黒

佛國遂に放棄か

ドイツ總選舉の影響

官滿制洲

水煙 處

チソン氏は十五日共に財務長官並びに財務

なかつ

学中の食ってで

7

り手を引く意思が明らかであり、フランスの際がたる歌歌を依託歌は襲撃の無力によつて大統國を被により瞬间間の不安を除くかの親かをさるほかなくなつたが、イギリス既に歐洲球局の混散器やはれ、ドイツのこの郷地能を選に基へ歌れたフランスはイギリスさ手を握るか、又はドイツざ直擦、東京特電十六日登』パリよりの懐報によればドイツ徳遊集の結果を見てフランスは大なる不安に『東京特電十六日登』パリよりの懐報によればドイツ徳遊集の結果を見てフランスは大なる不安に

0

蔵様さしては國防費重視の最高方 去正午汝安島費飛行機で東上する等高会を加する戯わり、蘇衛 間に配り食業する所わり十一する等高会を加する戯わり、蘇衛 間に配り食業する所わり十一する等高級性は強強管性を食見し協議 訪問、今井田總監を突へて統

版より日紫微皮可能性値めて高さ 能蘇公使の報告によりロシアの現

國民政府

日和見

の事権をして40名組をがいったができれてある。昨今夜間の無温に置かれてある。昨今夜間の無温に置かれている。

手川

満鐵の根本的改組は

今有光商店

阿比留氏渡歐

満洲國を中

日滿蘇關

に膨脹せる能いがあるのであり、 事柄の懐質上、満洲國の育する監 本然の権利を行使して調査要求を総 さんにより、 之を以て直

では、大日大場脈東脚門がは、 一個を聴いてもお客へ出来の 存在すら知らんよ、知らん者に 何を聴いてもお客へ出来の

大場局長語ら

ばいかる丸船客

名實共二致セ

ル

鳩居堂ノ

筆墨

藤知

| 「新京十六日登園通」前浦州國司

東京北端問題を中心に福々なる ・ 本所あつた、要冒左の如こ(文 ・ 本所あつた、要冒左の如こ(文 ・ 本所あつた、要冒左の如こ(文 ・ 本所あった、要冒左の如こ(文 ・ 本所あった、要冒左の如こ(文

んが對滿國策の發動

在滿中樞機關の論據

側の時代の

添洲畑さ・

に治安維持上東大な除碑となるは 関さ展館は変の暴駆さの間には20 でなった。王進立國の満興の満興の満興の満興の満興

州國内におけるその世盤でなり水 た決して放棄してゐないここは注言 ない。ここであつて、北郷に清 はすべきここであつて、北郷に清

女の部屋

(11)

作 畵

のであってい

地が底長外軍要職員及び

ない、だが現在においてはその火を見るよりも明かであつて、こ

漢聲群 CHD

の戦争は空に撃撃ない。

一た夫人は、自分の若い時そつく 「夫人は、自分の若い時そつく に夫人は、自分の若い時そつく

過鳩居堂

京都市寺町師小路

をに電響機ら、その成行きを膨衝を 跳べが非常なセンセーションを建 跳べが非常なセンセーションを建 にできる。

上の波瀾を生んではゐないので

便送つさめた切れ物の外交官で

性容界の地位は昨日今日の た。だから今日夫人が占め

なの一部な

日夫人が占めて

動く、お元気だつたの?

無定康としまって」 かに應じてやらればならの事は無 い、都門の機大に資本の地 がにない、都門の機大に資本の地 がにない、都門の機大に資本の地

が對蘇舊債權の

雌認要求準備

米蘇交渉成行如何で

の全部で云つてもい、程徳ゆる所

加減でも配くて早に立ってゐるの態が疑って入口に立って入口に立って入口に立ってゐるの

でなったは高春の顔と心が高ける二キビ

からかに乗りれたかりましたであの方のやまでにない、我によう「ソッキくまに近しまっている場合である。 実際の 女子 こうかい ままい こうかい はんじゅう はんじゅう しょう はんじゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしょう はんしゃ はんしょう はんしょく はんしん はんしょく はんしょ

して死んですひさうな活

夫人の方でもそれが彼女の生活

郷け、わけかに

矢田公使南行

参謀長々の他多数の見送りを受け 使は十六日はさで小磯、間村正副 関村正副

解伏せになった。 いいよるさ母の傍のカナベの上に

梶田小兒科醫院

越後町岩狭町角(電六七五〇)

ればならの音然の問題であ

国の經濟政策の具現である。

以来帝國はこの不可分なる一體観 の上に立つ禁粛方針を観立し、職 の上に立つ禁粛方針を観立し、職

明年度の軍事豫算は

八八艦隊豫算以來の新記錄

結局十億圓に上らん

大学度の軍、支持を収り軍事事業の関連を求め、大学度の軍、全力を検討する事になってあるの、大学度の軍、全力を検討する事になってあるの、大学度の軍、全力を検討する事になってあるの、大学度の軍、大学して互議議議に基を無事解決をしている。大学して互議議議に基を無事解決をしている。大学して互議議議に基を無事解決を対し、大学して互議議議に基を無事解決を対し、大学して互議議議に基を表する事になってあるの。 來週に持越すか を変を 野し恋信祭を承認するならば、わかが、が風はこの問題に関する光準、カカが、が風はこの問題に関する光準、カカが、が風はこの問題に関する光準、カカが、が風はこの問題に関する光準、カカが影を表してこれを要求する機能をわる調であるから、米殊交渉の展がが終済は進めてゐるさ は

> **天氏(滿藏審査役)同**。 太郎氏 (滿鏡顧問) 同上

双方の意見相容れず 第 專任)委任屬官八人(專任)關任技師 緑地域に通じて左の職員

藏相けふ愈よ裁斷

数内閣の道命を班上に上すものさは依然樂觀を許さす。康繁閣議には依然樂觀を許さす。康繁閣議に以の討議は

谷参事官けさ

つかなくさ

軍事費の再調査を了り

柯辨四郎氏(富士電機参事) 松太郎氏(帝國生命大連

に要美の人婦と突逐のデリ

の性物

三氏(滿蒙資源館長)同 時四十分時四十分 郎氏(內務事務官)同

雄氏(昭和製鋼所耐長) (ハルビン交通銀行副小氏 (三等軍婦正) 同上

の力強い歩から 0 た気性につた。

米財務長官

ウ氏辭職

自信に満てる行軍の強味、實に 一門観へ、影楽歌歌 遠い縁枚を逃つて就職の世話を横 無野の部所全毘ひ、婦人創造の概 して始終飛び歩く一方、

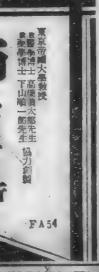
た押ではに称うりて洋子の柳崎 つたっそ 手布でそつさ娘の芸の様 何度へでも、その代り

こゝにあり。

京の歌の歌に大き、 高價な香水の心 塔族の量を輕減し、結核間の出現を減少 ファゴ









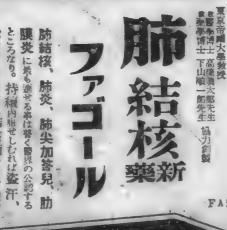




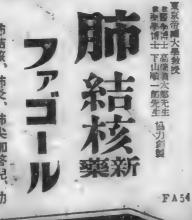




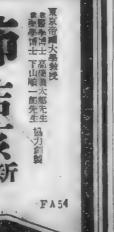












在滿皇軍へ御下賜品

極平、河、

【氏報】乃木物軍が約一ヶ月駐屯

史跡であれば

疑家屯邸宅の工事を中止し

驚いて張本政氏語る

欒家屯乃木將軍遺跡

健師部内集田季太郎氏以下三十 課員の家門で一同館内閣を受け新浦鑑々道部陰康さなつ 鬼で来述、地頭で少な窓の観点戦に見事バスと十六日付齢 が暖々とく十六日入港の観り地で行はれた浦鑑々道部は 十七名さその家族級二百

一六日入港のうすりい

一百名の大勢

利を占めて居たものであるが職像者は各地に既在し根常験範疇に取る機能である。北平、上海方面と無常で連続して巨機動気流人関係者を検酬の来逮捕、午後二時本署に連行した、右一派は本年中頃以来前記の如く天津、北平、上海方面と無常で連続して巨機動食して午後一時これを繋び技師中野俊雄、平岡孝雄外敷名を引致同時に市場控心の連続本都になつてゐた支那客传及疑臘を襲び連げ使用するものと見込みをつけ大連署と連絡殿廠捜査甲の處十六日市内渡速町中村繋器店方にその本鎌のあるとを祀め大連署では秘事隊を使用するものと見込みをつけ大連署と連絡殿廠捜査甲の處十六日市内渡速町中村繋器店方にその本鎌のあるとを祀め大連署では秘事隊を本年六月頃より天津、上海、北平方面より職格をより銀市場を盛んに捜配する銭重があるとを探知した水上署ではテッキリ私かに無電を本年六月頃より天津、上海、北平方面より職格をより銀市場を盛んに捜配する銭重があるとを探知した水上署ではテッキリ私かに無電を

秋父丸で横濱着直に東上

に東上した、長り京城、二十七日大連出鉄点 に東上した、長り京城、二十七日大連出鉄点二十億大寒は正年 日大阪より下郷、二十二日参川 に東上した、長り京城、二十日京城上等二十五 に東上した、長り京城、二十七日大連出鉄三十五 に東上した、長り京城、二十七日大連出鉄三十五 に東上した、長り京城、二十七日大連出鉄三十五

し動一等旭日常

無電で銀市場を攪亂

けふ午後

時手入

村樂器店を本據に

日

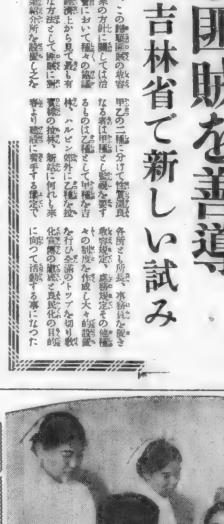
新滿鐵社員來る

けふの船で約二百名

職業紹 歸順匪賊を善導

治安全く成つて勝順を申込ん (古林特電十六日要) 討處行

する職業総代所を設備してを 著より建設に着手する像定で に向つて活動する事になった戦に繋来の方針に購しては治 なる者は単極さしな機を数す 教容規定、農務規定その他受維持動において極々の協議 るものはご種さして地種を抜 を行び必滿のトップを切りが変維持動において極々の協議 るものはご種さし、地種を誓す 教容規定、農務規定その他受安維持動において極々の協議 るものはご種さし、地種を誓す 教容規定、農務規定その他と安静が、この論職施設の教容 単二の二種に分けて性質温度、各所さも所長、事務員を健認を



態よ明春から繋ぐ 目動車が一日 一往復

からさいふやうなことを「既不明につき取職中は消職へ入社すれば待遇」(二)は標識下に際緒

列車進行中に 機關方が墜死

でことは概要下に密義が亡した、限 ・主機関を機関する保備・原産の大 ・主機関を機関する保備・原産の大 ・主機関を機関する保備・原産の大

朝來各醫院賑ふ

全滿健康週間第二日



正確堅牢

が死んだ後は姉さんも幸福でしなば何んさも云ひません。これに

堅實にして

優秀なる

生地十種を特選提供

艮

或

產

地

背

國産品中で最も進步せるウー

ステッド地の

プローニーン川田のないというと

NEW YORK

JE

員会で協議の上

侯夫妻が

月十五日より同十九日迄、

五日間の御註文に限

智術を記り、

一着金三十六圓均

電二二十四九

温い救ひの手曲馬團の娘に

など、平江サカエへもの上に早くし

がはとうとうと言いかに対していないとうない。

間候の手が差し伸げされた―― 同性の手が差し伸げされた――

へる廿六日來連

けふ秩父丸で横濱着

ルコニー焼は二十

暖

冬のお召物は

連鎖街

中山

뒒

人服店

服征服一

頭痛に

コニー

事で知って強く同情と十六日午前 さ申出た。同署では直に輸入ホー

果然!

大好評!!

息づまる昂奮!

盛り上る興趣!!

世界唯一品

大海戰映畵

ル・ピロ

勇士凱旋日程

忽

5

禮

日

活

館

市產業課人

天役を買つて出る意向

合大資出しな目論む向がないので

市民政資往来のよう相談相手さな

れた大連市産業地では輸入組

西海

故門軍砲兵大

概率において岩井保安主使から | ころあり、駐鎌方針に關しても協 | ダンス問題が近ごろ大分喧まして魔東腰本田保安課長は大連書 | 問題の現況に就き詳細觀求するさ | 歳に踏るに関す物状合せのため来連 | 経歴問題化してゐるダンスホール | 鑑が行はれたが、右に就き本国際

保安課長乘り出す

けさ大連署で打合せ



殿部席抱護城一美こさ武田トシのと解へらわてあた市内美造明二三 三角關係

藝妓心中原因

原製物域さ不解から自殺を除った

早速調査する

岩井少將語る

抱主この

十湖(字前 大時三十五 瀬湖(字前 大時三十五 一部 三年 予 不

暖かい毛皮 和洋塩に調和する冬の服飾の美で保護は スマー トな感劇時間かな毛皮に関占されます

狐(銀・黑。白。紅。赤)セーブル テン、リス、各種毛皮ショール。御 漏人オーバー 防寒手袋、帽子。各種取揃へてお ります 暖かいオーバー 二階

¥ 4.60-¥ 500 原美の領婦人オーバー ¥ 10-Y S2 暖かい毛布

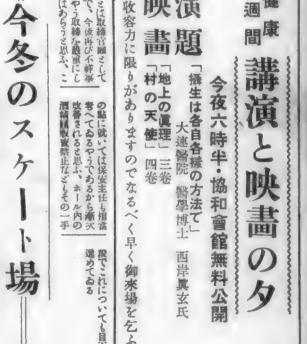
お可愛らしい御子様オーパー

嚴 冬 0 お

人二役 證 僕 等 僧 次 0 郎 吉 弟

人ならば泣けり 大河内傳次郎 非常時辰の少年哀話

重



畫題

一多摩が死の道連れさなつたもの死を決意しこれに同情した妹怒奴 態の襲撃があり、その結果一美は 調の結果死の裏面に桃色事化が 广地内 栃木農 大連伊勢の 莀

泛代

內科專門

事致候間倍舊の御高庇賜り度御願申養致居候處以御蔭全快仕り再び從前去る八月上旬以來病氣に罹り一時休去

の勝代さは極玉田村後一方さしてゐる、師ち一美

上通診

9 0

診療に

沙尿器科

今冬

いある

從來通り七

所設置

朝門 八院随意

一本自傳味園

通

間康

廣告仕候 洲國商標登錄出 告

法辯 學護 士士 大連市西通十 七番地(小島ビ 一願の代 理可致

話 二階) 五九 -0 書

木 京天 出 出 張 所 朝日通 宇 治六四 質町の七 九一番地

满

善鬼惡鬼

(260)

「いやです、いやです。

◇英國祭◇ 「縄の白糸」に次ぐ海口健二監督



燈のかげにすかして、 ー人だ。男と女の二組に老人 もなかつた。男と女の二組に老人

の處女」さ「燃ゆる常士」中籍を 態選来の住作品「普獲館」上順に 態選来の住作品「普獲館」上順に を選集の生作品「普獲館」上順に



日

の天使」の一場面である

再び貴女の胸 を純情の涙で を純情の涙で

まし、線を解めたら好いかと思いてこゝで少し寝かしておあげれてあたので、一こゝで少し寝かしておあげれてあたので、一こゝで少し寝かしておあげなせ かい を しょく まし、線を解めたら好いかと思いて、 ない はまは 五郎兵衛がな どうにもなりませんでございますがささ蒸着されいんでございますが 一藤助はまだ網領がなほらわさ見 脚助が自分の優床を、片よせ います。藻質くさころへきついます。溶質くさころへきつ 打つてかはつたいちらん 深

五郎兵衛で藤明がそんな事をい があつても、それは物鑑員がない。 でならべて、響かに極かされて に移させるだけの検選員がない。 たはつてやりたい無様になってる 「まだ夜のわけるのに間もわります。先生。さうしてゐられますま なった。 実外におもった。で管が電影器に なった。 廉助が氣を揉んだ。 を敷なら、やつさ三巻か四 様子のかはつた二人を見て 太郎が表戸かわけ なるしい、一夜がすぎた、棚

おはまが眼なするて睨んでる 「おう、そちも無してあつたか」 したが、ハツさ思つた。 「村の天使」上映 五郎兵衛は藩隊をはれのけておう、そちも無してあつたか 健康週間映畵 まりのやうに飛びこ

マうになつてゐたおはまが、突然 「是非に及ばぬ。郷養こゝにゐてるのだ。

晩秋の一日を!

人場料金

階階 下上

四六 00 んせき來出 はで館他

本イの笑ひと喜び……… 南國の踊にも似て

豪華絢爛一行四十二

な大一大名の娘子

つかね魅惑と肌の香り、

るせ

は組番な澤贄なんこ

海主娘クーイウ・アテロド

神る 女世 踊を 舞・女妖の評好に的 工全





强力殺菌內服藥最新治淋新劑

氣で吹込んだレコード

氣蓄音器で再生する

が

的

電氣蓋音器

荷

二物店

急 ンド 揚り 市浪速町のたしまし バツク

學校の成績があるないではなるを



街の 100年人島屋へ 相場は

人選市供参削四つ大選市供参削四つ

演はは明 品 信すす 明ぐぐ昆 と煮 极 けへ 33 六八四 九二二洋 0== の九九 # 行



RCA ビクター エレクトロラE-135

特價 240圓 他に新型種々御座います 一度御來店下さいませ



電 4 1 4 8 4 1 4 9

賣店浪速町電4810 奉天浪速通 ヴエリクロ フヰルムパツク



ハレーショシ (ぼけ) を絶對に防暗部のデテイルを極めて鮮明に

みますから無駄なくして結局經濟的 ヴエリ 致します 寫眞の興味を増進致します。 クロ は必ず良い結果を生 コダツ ク會社

1-感光乳劑が高速度ご遲速度の二重塗布 なつて居り 、日向日蔭の區別なく光ますから露出過不足を矯



から 三月子街 着したので特別上映

三料 十金 銭は

映

樂

館

0

盛

主聚語明岩 主聚醇科保 V 一磧の霧 八氣で初 「女王樣御命令 日 滿員

記 豐 **在**庫 大連市出泉通二十一街地 合 原 支店 電話代表八二二 街 名 一会前 ——天毒 京新——京東

百

招來さるべき

日。本。經。濟田

經濟學所士 高木友二郎

七千萬の受取勘定

極度な工業の衰微から

延いて撫順炭にも

好望裡の我國際貸借

八超不可避さしても

液化等に燃料研究には努力を被 対である、私見さして石炭液化 は軽潤的なメドさへつけばやり たいさ思つてゐる、石炭の方も たいさ思つてゐる、石炭の方も たいさ思ってゐる、石炭の方も

問島で石油戦

蘇聯油進出

| 一週 三日の探院様止を敬 込んであるが | 10分割 | 10分

日本商議總會

消費組合撤廢要望力

十六日の第三日目

「東京特電十六日要」日本融写会

「下り板」の清線消費組合能響要認の決験ない。
「下り板」の清線消費組合能響要認の決験ない。
「下り板」の清線消費組合能響要認の決験ない。
「お方の診案につきないから、
「中間の出本能戦の緊急拡減で呼電
「たる左の診案につきないから。」
「中間の出本能戦の緊急拡減で呼電
「たる左の診案につきないから。」
「心臓消費組合能響要認の決験ない。
「なった」

洲電氣委員會

十九日開催 員會を新京で特別委

鈔票軟弱

東京插科医学士

사건·선생 この河三市使大

野金(現 10、も)の

門野浦旭往嬢 廖

お湯

Ŕ

棉花

制服の

工場のオイルセール 今度の地震部分も監然海軍省級人 をはてあるのさ、工 海軍省さ流巌さの間に増震部分に の欧良が進行したの の欧良が進行したの の欧良が進行したの の欧良が進行したの のではが進行したの し、本年度の増産職 し、本年度の増産職 し、本年度の増産職 あ、同いにできるがあった。 た、オイルセ たが、一方流鑑師でも十減理事を をはつた、オイルセ たが、一方流鑑師でも十減理事を をはつた、オイルセ たが、一方流鑑師でも十減理事を で、一方流鑑師でも十減理事を で、一方流鑑師でも十減理事を

配車に大重

浦洲大豆の野外輸出は中旬に入る 各郷選事務所に左の振命を發した ではこの際混響を買の大輪送を行 ではこの際混響を買の大輪送を行 ではこの際混響を買の大輪送を行 な事に決定十五日午後電話を以て

國論一致してる

補助金問題も近く折衝

十六日來連の水谷顧問語る

が津田社長は質問に對したの如き一

過剰に悩む

東大学 (本 天) (本 大) (x + (

・コル つ時中より ・コル つ時中より ・コル 六時中より ・カル 六時中より ・カル 六時中より ル・ビロウ

十五日公開 **日公開**

でを関係する

主祭

時靜 園

六十一則五十段

十六日小公開

海軍省と賣約協定 水谷顧問來連の主たる用件

本年度の産額五萬噸

の職間に對し滿洲電氣協會內滿洲一的成家を得るに至つたので、來る金滿電氣周波統一に關する關東軍一遂げつゝあつたが、是近底々其種

(四)

燃料問題は を は最級より海軍と満級さ 中心に商事部関係者 は最級より海軍と満級さ 中心に商事部関係者 は一種では、オイルセ たが、一方清繁順で 地で表したもので最 へて居るので、従来 とつて着手したもので最 へて居るので、従来 作車に称入して來て居

五 日 日本 合
北端定期の前場皆に大株二十銭安、東京短期の東新は百丸十四、五個産主執扇を入れ常市の五品は定期一二十銭安、延一二十銭。 東京短期の東新は百丸 大新一面高、東新一面指み安、流鐵新十三級高に引けた 場高に引けた 場

. 五

Â

士養夜

電セセセ六

各地特產發送高

綿袋變らず

糸區

錢十三りよ日五十

日活

北見禮子・花村容子演出

電氣周波數

統一に答申案

委員長から軍部へ

五〇サイクル標準が適正

鮮最近の面影

(8)

大規模な水田經營

朝鮮總督

宇

二の例を御話申上で

沙州

保護政策に對する念感から强硬論が擡頭するに至った、餌ち然の緊促疑惑の邪の下深は我国に襁褓の郷問題に瀏餮と墨を主して避殿を見ざるに至ったが、我民間側には印度の繁骨なランカシャ

印度側回答に我業者憤慨

監ら整く性感に過ぎなくなり 三品相場は强調を續け印度市場に依頼する必要が非常って非常に有利であって即槍を必要さする程度を益々締めるに至り一方響かに盛へられてゐた内地に於ける要思

印度の不法な態度が改められない限りこれ以上讓步してまで解決を闘る必要なしての等政策的でなく現實的に印棉不必要論からポイコットな響響すべきであるこの意感にはれるに発りゆくこと可薄らいで來た、鑑ってポイコットに依め映場よりの態感輸入性態は何等書稿さならない既態に至った、かくる販廳の下

どなった

地番一卅町間公東市連大 社報日洲濡熱

香〇六連大座口幹板

田

は日英國國間の親好を選出席で鑑賞を認めた、階級との日本綿素

電大阪十五日登園通 発を清削して次の如く理論する事 を表演的して次の如く理論する事 を表演が、一颗日中に農林

日本の目英民間協議會代表諸氏日本の目英民間協立を理解し間高を理解し間高が決定している。英國は同題の公正且つ誠實なる解決に對する手段を見出さんで決意し

蠶糸專賣建議

7中の帝國全土輸出入(東一五日養國通】大廠省養表

評

輸出入共增加

大學教授美濃部博士者「養四國八十級東京帝國美農工場」

さ力識、サイモン外根も松平大使

親に式を行はせらるゝ手報きを執

十月中の貿易

德川公歡迎會 倫敦日本協會

の色濃厚

十四日後は通過ロンド

輸 出 四○、五六五 計 六四、四九五 差引出植 一六、六三五 一六、六三五

完整

日養國通】大廠舎委表――十月中の對滿洲國、關東州、中華民國及 の對滿洲國、關東州、中華民國及 の の で の で で 香港貿易 版算 左の 如 と (単位子の)

上下

對滿支貿易

東連關係から展三年来視察不可能 下各係員が去る六日大連費全線に 下各係員が去る六日大連費全線に 下各係員が去る六日大連費全線に 線路橋梁補强 近く應急處置

派

た極端な主事での緊縮政策の影響を組五年来の本況で滿鍵が断行し関連を極めたが一行の影響により 憲法撮要

東京帝大教授・

美濃部達古些著

各种 各論 四圓六十錢 四圓六十錢

上海特電十五日發 民政府態度を國民政府は、一

一次日印會商

印度側對日回答提示

| 全勝明してゐるが、整廊では新熱| | 懐へられる宋子文氏は然る事なし | されてゐる | されてゐる | では都像 | 力の基礎を造滅すべく経発してゐ | されてゐる | では都像 | 一方には表 | 一方の表 | 一方

配上

6重大政變來を豫想

机勢力と合流

が知覚に現れ、バラス、桃木堂の が知覚に現れ、バラス、桃木堂の が知覚に現れ、バラス、桃木堂の が知覚に現れ、バラス、桃木堂の でいるな受けてあることが映明 かくては全後のスピードアップに

愈新發刊 「等に真りて**忠實且詳細に説明**な加へら貴重の を講論」と業協合選動・企業協合に関する法令及び興論・ 企業協合選動・企業協合に関する法令及び興論・米に 議論及が概・第・米に関する法令及び興論・米に が関する。

鐵岡及石炭業片於企業組織

一冊參圓八拾錢

經濟學博士 目崎憲司先生著

十一時三十分散會した ・精花の質付けに関する機會を乗べ な詳細に検討する機會を乗べ れたき旨な希望と斯くて會禁 れたき旨な希望と斯くて會禁 石田大佐着京期

> 週間 健康

難打破は健康から

一群系の通謀説

席は

支那各地の 日教国通」職当なる第一

 「大十三名、作業素人六十六名が 満数々逃部が変遷雀から採用したと映走甲ださ
 「大十三名、作業素人六十六名が 満数々逃部が変遷雀から採用したと映走甲ださ
 「大十三名、作業素人六十六名が 満数々逃部が変遷雀から採用したと映走甲ださ
 「大十三名、作業素人六十六名が 満数々逃部が変遷雀から採用したと映走甲ださ
 「大十三名、作業素人六十六名が 満数々逃部が変遷雀から採用したと映走甲ださ
 「大十三名、作業素人六十六名が 満数々逃部が変遷雀から採用したと映走甲ださ
 「大十三名、作業素人六十六名が 満数々逃部が変遷雀から採用した 十二名、佛人八十 十名、米人五十八名、ドイツ人四にするご英人八十二名、蘇縣人七 八名、ポーラン 新入社員着連

の警務機構 午前九時費はさで南行する豫定七時來京願東車大使龍浦州國政七時來京願東車大使龍浦州國政治の石田中第

百行辨法きまる

大の三部師で、既と、一次の三部師で、既と、一次の三部師で、既不事、、会議を通識と十五日中央会議で、成議院は、会議を通識と十五日中央会議で、成議院を通識と十五日中央会議で、会議を通過を交がの第1人の数日外 (大変)に変化し、対して、大の三部師で、会議を通過を入る。 最後的決定

外に北方蘇縣より國境を撤出し米外に北方蘇縣より國境に依る、ははこの統計 矢田瑞西公使 激してあるか 単身赴任者は百七十名である か丸四十二名、他一日うらる丸 か丸四十二名、他一日うらる丸 いかる丸百十名、二十日あめり

又奉天以南は四東廳よりの應接巡査を外務省巡査として配備し大使館に警務局を設置し奉天以北(附端地を除ら)を純外務省巡を等職表すべき性質のものではなく職総常展養では既定的考試さして關東州外の警療機構、いが能能に附縁地返還までの時期のみである然に満洲国が附端地接地までの繁急館期間といい能能に附縁地返還までの軽急館期間と 程置然であつて論議の餘地はな しれに

に憲兵を全面的に

北支 問題を討議 中央委員廿餘名參集

けさ大連驛着の豫定

大橋光雄先生著

下卷 参圆八拾錢 餘大阪商大助教授•法學

19 中央政府は「野、郡使連絡問題、定を行ふことを持忠忠氏等中」につき原則、影響費を中央政治會の決定を行ふことを持忠忠氏等中」につき原則、影響費を中央政治會の大力を表現した。 地移管後の

善後對策を講究

奉天代表軍部を訪問

在満期人の生一談話で代表者の最後能够談を遂げ職地行政秘鑽一すで、午後三時から働一會議所會

数あり、歌音後の附近

滿洲國出入の

大國者並に通過人數は男三百二

社員採用要項

東株理事長後任

「新京十六日登回通」外交部の

外國人數

教授法學博士孫田秀春生者等圖五十年東京商科大學孫田秀春先生者是

作の如きは反當内地の収穫

、 張等の飼育並に変縁にも避り、 現に内地

【新京電話】、「職職人の満洲進出」する、「職の東洋政策に多大の豊東」さして企べ来にみの正常の政治的進出を開いて、対域に日本並びに、た残したる跡満数品販売政策に基立して、「大学であるが十月など、「大学であった」とは、「大学であるが出り、「大学である」と、「大学では、「大学である」と、「大学では、「大学である」と、「大学では、「大学では、「大学である」と、「大学では、「

至面的に豫定の退却

●の事であります。 ●のいて私が慣悟さらて法事に他 をないて私が慣悟さらて法事に他 をないて私が慣悟さらて法事に他 をない。 「重ケサー枚(約百匁盛)を京 「重ケサー枚(約百匁盛)を京

市役所で開催されるとになったに対する市会の態度を決定する条

聯合會大會

も認められないの

東職から金融鐵路に一定戦の通のであるが唯本年度滿鐵および

神戸

産

常盤橋電三OB四

課長渡歐

殘るは營口本據

東拓乘り出し

い着でも立派に就職されることにしおいて行ふので眼に一丁学のない者でも立派に就職されることに

動性な無くと鮮人の人権な維護し、非常に樂になつた精であることに、といれても立派に就籍されることに、既設するため領事館に出頭しい者でも立派に就籍されることに、「既設するため領事館に出頭しい者でも立派に就籍されることに、「無法」

場外取引絶にず

市場問題解決に暗影

金鑛貸付けに着目

東拓理事

中野太三郎氏談

說

米川加州
こメキシコ
さの
を連路の
破成に
依つて
だ。この
交連路の
破成に
依つて

が盛ずべき

外蒙の獨立ご

ル上ざ、 満洲 整層間の貨物 報送

蘇聯の進出

外豪蘇聯化の發展

立さてその運動は一般なり、 (1)ロシアの反ツ軍線に應接を をひ、電音を支那より欄立せら かんさするもの 立た質現せんさするもの 立た質現せんさするもの

政府は連倫(ウルガ)のバロン政府は連倫(ウルガ)のバロン

でいる古典立

さか始末のつ (統人はこれまで戸職が得るために) 住むてぬたことの所轄領事の下出さ化する (漢天電話) 満洲都住首有際画の | は明治四十二年二十一日以前が出されて、 北瀬の安達

簡易になる

談にも駆じる。例の満洲
「京に引返し陸路帰京の銀近である業への出資なり委任經營」京に引むる職はもさより「終の上遊離店に出て急行で再び新いさ思ふ」

農家の必要品ごして歡迎

需要は漸増の大

鮮人就籍手續

立にてその運動は底々其態化する タに外蒙古園政革命業を組織し、安の整絶とずらて、大の三派に分 明ちこの一派は一九二〇年キャフ要の整絶とずらて、大の三派に分 明ちこの一派は一九二〇年キャフ要を支那に合併した、だが反支票、 表をロシアに派遣しせ前を選した ルンよりの編纂上作班を奏し、左 関を掌中に東めついわりと外楽画 地では東の地域の中に外像人民共和

砂票昻騰

ない、外家産 にの没収 をの没収

北京では 大一一年外家 大一一年外家

城 撤回せる

生徒募集

英和タイピスト學院

十二ワホテル別館

(二百名以下) 出席でて開留
エート大會に相當するもの毎
エート大會に相當するもの毎
エート大會に相當するもの毎
に外衆未簡単等より代表約百
に外衆未簡単等より代表約百

Joy of the Taste

---E 00 E 00

◆定期後据《单位经》 ◆定期後据《单位经》 等付高值安值大引 等付高值安值大引 新近11至011至100 出來高期近百七十五萬圓 也來高期近百七十五萬圓 一時11至0三元至1190公 三時 11至0三元至1190公 三時 11至0三元至1190公 和糸近物高

ネツスルココア

本各地名産

と満洲大豆 優さべき機成までも 一般路の人事問題までも を編録路の表井亨加 では満鎌々道部さし では満鎌々道部さし 滿鐵與 人体職問 福支配

場であるため金属の整型を持ていると、 においてはかくの如き現象となく においてはかくの如き現象となく には響音を養する等であるが現金 ないではかくの如き現象となく ないではかくの如き現象となく ないではかくの如き現象となく ないではからのが現金 がいるが現金

機能ない。 にもあるが、 にもあるが、 でにもあるが、

大連代政署整務保長業務な命ず大連代政署整務保長業務な命ず 関東麻醉今(十五日)

中谷彦太氏赴任

● 現物後場(級建)

● 現物後場(級建)

● 現物後場(級建)

● 現物後場(級建)

● 現本高 百二十車

出来高 百二十車

出来高 一車

出来高 一車

出来高 二三八〇一一八〇

出来高 二三八千枚

出来高 五百箱

出来高 五百箱

| 大会 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100

ニワホテルの特色

新京分校 新京陽町二丁目十四番地大連本校 大連市北大山通十四番地大連本校 大連市北大山通十四番地

大速率天新京 (無料調整 開放記念事費大割引特典 本科 二ヶ月卒業事費大割引特典 本科 二ヶ月卒業事費大割引特典 本科 二ヶ月卒業事費大割引特典 本科 二ヶ月卒業

不

式(長期)

費貸

の途あり 各兵科中尉に任官と帰洲精単官さして重要なる破務につき張進4、 卒業後の身分待遇

こし四月入隊後士官學校卒弊論職迄の經費は官費支援の渡日に要する旅費並に採用決定し入隊迄の經費は十其、他の經費

野野金製幣野金製

〇八八〇

五五六〇

・同十銭高、延六十銭高さ 単し、満級新に寄付十銭高さ 単し、満級新に寄付十銭高さ りを示したが、引不申

應募に關する佈告

校志願者

大連婦人團體聯合會が

結盟一

一周年記念式

來る廿日市社會館講堂に於て

『【結婚と性病】 大學教授 橋本満

影とないこと との質情に騒感とて獨自の便法 場合又は衝突一統一的に強要はとないが各國それ の達見しどいっ

▼▼…个年はこんな心神を影響な戸籍謄本や抄本を取り寄せて を持つ保護者だちは人學に光づ必 を持つ保護者だちは人學に光づ必 の原蓋

ねぜか

七十四の守りがはぶけないのもりです たら、イ四)で幼に受けるつに打たれてはかまびませんに打たれてはかまびませんにかまびません

棋院李大手合戰

五十统。一 11十銭。三十

五歩の突き接近 本二四角 本二四角 本二四角 東計四十九手 累計四十九手

がありさすれば、それは恰も がありさすれば、それは恰も

ういふ刺合に存在するものである一些潜伏健康を有つてゐる人はど

愛症の 断すると 怖れがあります 軽いうちに 収返しがつか たほされば

香落器四段人

建部和歌夫

風が邪の

につ

變症を怖れる





眼



頭



京谷

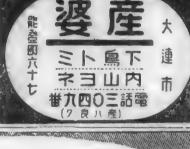
質効散を

常にお備へ下さい

是れには

なくなります

キ、メ水位の











便秘





感冒季下 特に小見の感冒に御安心 にも油断に禁物軽微なかぜ、ねつ 子供には必ず子供専門乗を小見に大人の薬は危険し



(その一)

上下協力一致で

任務に邁進

(四)

子供攫ひ

がた分離する事に大勝の空氣は深 の避けがたき場合あるを強調、再

時に前部長度の所在が地らなくなっま、出て行った處が、それで同のま、出て行った處が、それで同のま、出て行った處が、それで同 何さかして頂けないと

つたが或はそのルンペンが伴れ去ったもので、かうして話かしてゐる たもので、かうして話かしてゐる

野立小學校の企

新教育法の講習

日陸町 さいんり 内まんぢつ

卸出立衣裳

融画流淌さかい本店

古着

謄寫版の御用は

専門の大氣堂へ

御使は富士へ大連署公認

変 ドライへ

ミラー

地金銀鱼金

女中入用

新 病 日本

用家庭大國

材木界の不安除去に 安東商議・起つ

司の供給に仰いでゐるので、 ては、「情報者は勿論

"製鋼所は花形だ"

技術系統總括の

吉林敦化一帶

活況を呈す

殊に好景氣來の

久保田常務初の出社

を指導しその貢献せるさころ なほ瀬之口食職(上京途中十五日を指導しその貢献せるさころ なほ瀬之口食職(上京途中十五日を指導しその貢献せるさころ なほ瀬之口食職(上京途中十五日

總局警務處の懇親會

で変食。 (本語) は日午後九時五十二分雑念行で して近れが前人の の状成に返すわけであるが、手概 として記れを置いてある。 (本語) は日午後九時五十二分雑念行で して近れが前人の (大き) は一直 (大き) は一直 (大き) は一直 (大き) は (大き) は

海 鐵 社員

桃色に総つた者き男女の愉売事他

「書夫」十五日 職人機構第六〇 五職で一書概を 五職で一書概を 滿兵の

腎臟·血壓及婦人內科 肺門淋巴腺炎及羧高不良呼吸器及消化器慢性病 肺尖·肋膜及慢性諸病

池田小兒科門醫院

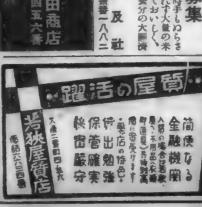
(戦闘書類等) 佐々木洋行

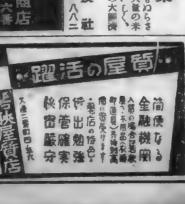




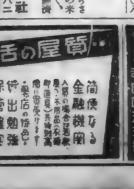
適助住込何れも

多忙會員至急募集 減心看護婦會主 海婆 三 浦 芳 子 製醬用丁目三四六













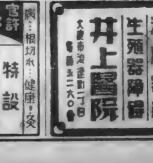
















本土まる八月二十八日午後六時间徹舍・大宮巡査の三つ揃び洋駅が何者かのために窃欺されたので更に配人に同僚者に出人「いので更に配人」と

こして盗賊事件のり犯人敗還平っ を大型振動協会では叛人

於ける順既の艦艇第一主義を艦艇 あり にて今十五日より来る二十一日送 にて今十五日より来る二十一日送 一工巡査の 二十一日送 一工巡査の 二十一日送

斷と

ツト配布

参加開建・各ケ所員、工業賞智 参加開建・各ケ所員、工業賞智 所、中學校、官衙、市中 終了後 計粉提供 一、黎鉄射撃大會 期日 十一月十九日午前九時 倉装 守備隊勢庭 東十五米、約十層的の十分ノ 東十五米、約十層的の十分ノ 東大勢のにて兵食

悲劇にならず

ハッピイ・エンド

別れたが……男戀しく

桃滿洲委員本部、滿洲日報社合同

展の影響和部級政制に伸ふ附属地行 するため、奉天地方委員會部地居住市 するため、奉天地方委員會が中心 さなつて記誦地方委員會部地居住市 成とこの旨順響とた。これについ て大津安東地方委員會部場は「という 高級の機構改造した。これについ て大津安東地方委員會部場は「融い で大津安東地方委員會部場は「融い で大津安東・北京東・北京市

寒氣と闘ふ

選進する

健康週

間

朗かに奏でらる

健康診斷へ 病兒を抱き母の歡喜

の響大響院、新十字規院さし 一報の如く十五日から全 て買ひましたこころ何事もないされば催の第三回を消化 年「子供の様子が變なので診院し

唐聚五紙幣

務所近く設置

で 中の戯この概念屋及び 中の戯この概念屋及び

での運命さらて要する夫を捨て、 本年十月一日無職家出したので捜 でのカフェーで女給さらて難する夫を捨て、 をであたった。そこでうめもこれま とり舞ひ戻り奉天警に出戦してみ か完を通り角元の変さなられる響 か元を通り角元の変さなられる響

電解別 過級の明治部に置り承鑑 これわが第〇概を説し、職を代表 会発度でごグ早を標準がである。 本日の明治節に書り来述です。 本日の明治節に書りまして傾属が 本日の明治節に書りまして傾属が

積雪を蹴つて 健康日本の行進曲

| 「「「「「「「「「」」」」 | 「「「」」」 | 「「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 |

全滿地委を開き

地® 行政移管協議

奉天地方委員會が提唱

後職のため、施工 大幅接触を対 大幅接触を対

野帰除第十五脳逐隊のため、

に事業の進成を誤って居る同館 国に事業の進成を誤って居る同館 関東務所を設置する事さなり、世 教主なの進成を誤って居る同館

は、古内臓の製造水うめ(ことは市内型 像縦する事が出来て奉出皮とく を行った、動泉に繋管生土五名職 15、 加フエーで女綴さらて職いてゐる 像縦する事が出来て奉出皮とく な行った、動泉に繋管生土五名職 15、 加元を糖が同様とてゐたが、角元 には内地に繋子ありしかも奉天に は角元の母親が居り、うめさその はなかった、そこでうめもこれま はなかった、そこでうめもこれま 15 (1) 15 (1) 16 (1) 17 (1) 17 (1) 18 (1) 18 (1) 19 ((日午後二時より同校に於て(午後六時職) 開東州水産館主催の第一間大連松林小學校に於て(午後六十五日より四十日で、十五日より四十日で、100年日 100年日 10 康平縣の粮券

我承徳部隊を訪問し



康を築養の糧 生必携

五鈴

跳性い 脚で 間にも似った 苦味をこめて…… しかも實味した後の

葉煙草檢収

議の東海を被収は本月四日から ・ 「本の東海を被収は本月四日から ・ 「本の東海を被収は本月四日から

營口の降雪

他も何は依然睡臓いて居る 「関原」本年は稀有の暖線なりとなって、 が十一日十四日が敷より一天影りな 十五日午前三時頃より粉々さして、 が十一日十四日が敷より一天影りな 本年度の不動産融資工 繁家屋は本着以來約1

対のでの能が放性の能が、対している。 を開製る艦の乗店にある を 金元十銭 金 一 祖

自然の儘の B なとした黒髪に染る

入學を延ばさう

をが形状であり、 とが形状であり、 とが形状であり、 とが形状であり、 を貼め、 を貼め、 を貼め、 をます、 常にしよう とが形状であり、 をはず、 常にその とせず、 常にその とせず、 常にその を にしよう

思った程弱い子が

入庭子後、まもなく風か。ませました。 心臓してるましたが、聚の定がと思って読みに一板買っての 心臓してるましたが、聚の定がと思って読みに一板買っての かと思って読みに一板買っての かと思って読みに一板買っての かと思って読みに一板買っての

榮養の悪い子は

學校の成績まで悪い

増える兄童の

常から紫養を昂めて丈夫な體質に發病してから騒ぐのは既に手遅れ

感冒と消化不良

P対りが止に一時 地球水などを

丸鋸堅鋸帶鋸直輸

天幕、雨覆製造販賣

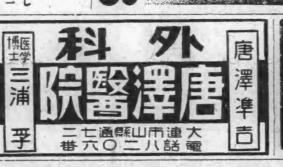
五月丁三亚北州及西區两市較大 了商中濱 al

製材木工機械製作

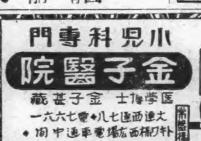


歌きに依つて勝貫はじ















料油

佐

漏、遺精、夢精の人の騒音

A

早漏防止器

服内淋治

定 十六日分 大 五 日 三十三日分 - 余 - 毎 - 一分 - 一分 - 一分

炎、其他淋菌以外の病原 胱炎 攝護腺炎及び精囊 萬に因る尿道炎、膀胱炎等 急性尿道淋疾 淋菌性膀



葉であります

を氣永に服用すれば完全治療に近き良結果を奏するを施して其經過を遅延せしむるよりは複力ノボノー 推奨する寝方ノボノール球の効果全國の醫學博士や著名大病院が

可修道阪大 店商吉友澤 藤 社會式株 門小西城京 • 橋本日市京東 • 通縣山市連大 店支

淋病は合理的 法

根

でるたこさが判明した。職人でき回い

双聚職方同居天津原施設主席店員

原籍京都府柳樂郡加茂町

楽町四八二二陸華坂、聚織方同居へ連中であった平岡孝雄へも市

(日曜金)

銀市場攪亂の一味

無し技師の中野九八、大速派出員の李恩承さ吉鴻君上」ら中村樂器店主秋山米藏、連絡部長役の平岡孝雄

巨利を得て

大郷東山できの耐名は本年六月ご 人郷東山できの耐名は本年六月ご 人郷東山できの耐名は本年六月ご 人

題に無電装

め大連にも無電を製画 送った上一日二、三十個天港方廊と特温員を送り 吉穂右、摩瀬號は季慇原を大連に先づ天津、北平、上海 さして天津の本店より継續総號は

の概義政治を始め際原綱に給土番大連署では一味の印度にあき天津

打合せ會議

称版の流り、 とか説可に での解験について監督官職が

十六日吉林で開

の類様となった。の程度まで各

賣買 してぬたさのこさで

人谷口妻(こと)を置き支那人仲質人

加加

背島に前部平岡孝雄及び沖縄

人接触中野九八を接置し連線鏡さするこさ、なり特に大速には日本

は五十餘萬國、柴源號は三十段萬

見料長牧政二氏の見重菜養に欄す「宣傳に努めること、する議談を行び後はポー学網院小「紫藍を棚化したラチオの議談を行び後はポー学網院小「紫藍を棚化したラチ武食は、供し各小學液では食物に購」る構造わりなほぶ州

るぐ告び喜の

生活の爲の女給をも許されず 惠み少き曲馬團の娘

はんがための女給稼業も出來ずして更れば父母は死に絕え、兄妹は行方不明れば父母は死に絕え、兄妹は行方不明れば父母は死に絕え、兄妹は行方不明れば父母は死に絕え、兄妹は行方不明れば父母は死に絕え、地つと苦界から解放されば父母は死に絕え、兄妹は行方不明を行を經て、やつと苦界から解放されば父母は死に絶え、兄妹は行方不明

滅了さなって

九歳の時へで被の時へ

の前に呼

命を物語り身の保護方な駄鏡して カエが六歳の頃交は八幡整鑢所の のためだ、主視して臭れ」と言ひ「治郷舎終受に瀕ながらに敷命な速」いひ彼女の磯鯵譲りによるさ、サ 欠はサカエを手許に呼んで「一家へ出頭した見すぼらしい姿の娘が 江佐一郎の長女平江サカエへもさ 兄妹三人わづたが赤貧洗ふが如く十五日午後二時ごろ大連署保安保 あた、右は長崎市小杉町二二七平 地 工 ではオッモこの間に 職工ではオツ

餞別八十回さな既び受け

欒家屯に强盗

日午後六時時沙河口管內順家

6の、個名投稿で大連器に機られて上海からダンサに機られて上海からダンサに機られて上海からダンサ

宣

②三河屋蒲園店

「一カス)側の手に渡され「曲脚側の一トカス側の手に渡され「曲脚側の 郷里の父母や兄妹に知らせであつた、先つこの嬉しい

処はしカス

迎科(一)の逮捕を直に手配した "二)]] 一京縣市(三) 同縣源號特置貨庫 於公行方被豐銀號特置。 真宋 惠 生 於公行方被豐銀號特置。 真宋 惠 生 奉天寺で慰

銀市場の攪亂事件後報

姿なき魔力を利用

百萬圓を賣買

靈祭執行 七日着

『本天電話』十七日午後六時半か 5二十二別時で來來する遺情三十 二體の影響祭は奉天寺に於て殿職 に続行と二十四列時で大連総中内

匪賊の襲來 トン部落に

兄童榮養デ

街頭宣傳、試食會、講演等々

健康週間第三日

驚くべき巨利を占む

十月以來巧みに連絡し

馬城三十餘名鷹水し警察側の急報と北方トリトン部隊に順覧で明の安北方トリトン部隊に順覧で明の

五時五十分横須賀を敷したこの朝一同は午前四時起床、昨七日収容以来一年有半年五月十七日収容以来一年有半年五月十七日収容以来一年有半年五月十七日収容以来一年有半年記の頭付の小綱に最後の朝食器との頭付の小綱に最後の朝食の場合にある。 所に移される事さなり十六日撃墜 成了では、長日の一般のでは、大きないのでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、

生丸が來る

曾つて置籍問題で

粉議起した漁業船

海軍側被告六名 その後の歴況で明であるであるである 小菅刑務所收容

書籍約 千册も共に

〇の勝者對禁口道場二組 〇の勝者對(木)の勝者 一〇の勝者對(木)の勝者 の勝者對(2)の勝者

十一日より三日間に延期した由一十一日より三日間に延期した由一十七日から献ふ三日間混進町幾久

個人展

眞

ム鍮プ

速市

沖路本町

滿洲日報

廣告部電話四四九

日

岡藤園書伯 から

十一月十六日 昭和八年十二月

舞江原一日より第四十一回定時株主總倉終株式名義書換停止公告

大連取引所信託株式會社

五二

情夫放還 の勝者對○○の勝者)の勝者對(4)の勝者 が。店 0

丹前毛布

9

即用命

白龍正宗

方は至急左記へ御申越下さい

二階建 一棟

京旅

鄖

イン慢性中毒

曲数か教へ初めた

者当CIDの勝者

自

分

を救つて果

郭

ス



商店 坪所

百三十坪、間口十二間 新京日本橋通り目抜き 事務所向

新京富士町花街の中 食道樂營 心 業に 好

階 建

棟

近代女性のお肌を麗し

も尖端的な整美料でご

到る所の著名雑貨店・小捌物化粧品店・薬店及消費組合にあり

ヒ密造團檢學 豪壯な空家内に工場を設け

大連署大活動を開始 学が、本人二名並びに使用支那人四名を 三名さ判別、同人等は六月十五日 株一 一般の一般に使用支那人四名を 一名 本ので 連行取調べたさころ、同人は脱離 頭より同所を取りたと常識を掘げ 九香、現住所中家一門(こ)実犯前 てゐたものである倚急報により午は 九香、現住所中家一門(こ)実犯前 てゐたものである倚急報により午は 九香、現住所中家一門(こ)実犯前 てゐたものである倚急報により午る 本の 一覧 が 出張現場に急行する ことを して収離して終明を は、カラのこ 『古林特電十八日聖』古林全名に「は非常に注目さられているがこの大説伎後の治安 名に範を示すや呼の大学はすでにそ が非壁以来発電の大学はすでにそ が非壁以来発電の大学は 一は非常に注目さられている 受維持館職保者及び滿洲軍聯問教時より吉林蒸後野帰地區八属の治 が非壁以来全端最初の 作に縦を示すや標常の を記を示すや標常の

爭覇戰 剣道團體の

せ決る ※館管内义信注 (領二件 ▼

何分換算さ場 羅紗裏各種 毛皮裏各種 pompeian トガクリームは く培ふ最 ざいます 怪んの二分間づつ 此のクリームなお額・首 筋・手によくすりこんでおやすみ下されば 快よい睡 眠ささもに知らい間にお肌が若々しく美しくなります



た

なみは

T

店商七源野天 舖本京京

價

瓶 50錢 瓶 30錢

45錢

信用瓶 80錢

新型瓶